

平成 28 年度

事業報告書  
収支決算書

平成28年4月 1日から  
平成29年3月31日まで

# 目 次

## 平成28年度 事業報告書

《平成28年4月1日から平成29年3月31日まで》

### I. 実施事業

1. 人材確保及び技術・技法継承事業・1
2. 産地指導事業・・・・4
3. 普及推進事業・・・・5
4. 需要開拓事業・・・・13
5. その他の振興事業・・・・18

### II. 法人の概況

1. 設立年月日・・・・20
2. 定款に定める目的・・・・20
3. 定款に定める事業内容・・・・20
4. 会員の状況・・・・20
5. 主たる事務所の状況・・・・20
6. 役員等に関する事項・・・・21

### III. 役員会等に関する事項

1. 理事会の開催・・・・22
2. 第11回評議員会の開催・・・・23
3. 第6回伝統的工芸品産地連絡会議の  
開催・・・・23
4. 業務執行会議の開催・・・・23

### IV. 庶務事項

1. 基本財産の造成・・・・24
2. 収支及び正味財産増減の状況並びに  
財産の状態の推移・・・・24
3. その他の庶務事項・・・・24
4. 会員名簿・・・・26
5. 作成資料等一覧・・・・32

## 平成28年度 収支決算書

《平成28年4月1日から平成29年3月31日まで》

- I. 財務諸表・・・・35

# 平成28年度事業報告書

《平成28年4月1日から平成29年3月31日まで》

## I. 平成28年度実施事業

### 1. 人材確保及び技術・技法継承事業

伝統的工芸品産業の根幹である伝統的技術・技法を継承するため、各産地でこれらを担う伝統工芸士の認定事業では、実技試験の視察を行うことで試験の厳正化を強化した。

功労者褒賞では、産地で功績をあげた方に加えて、新たに意欲的な取組を評価される若手奨励を行った。

「児童・生徒の教育事業」や「ふるさと体験・交流事業」では、工芸品製作体験をさせるだけでなく、暮らしの中での和の味わいを提案しつつ工芸品に関心を呼び起こすため、産地には児童・生徒の教育事業で現代生活での使用例を示すよう促すと共に、ふるさと体験・交流事業では、工芸品の製作体験が催事のイベントに終始することなく、産地求人手段である趣旨に沿うよう産地の求人実情を正確に伝えるよう促した。

また、産地の将来を担う若手従事者に対し、マーケティングやデザイン等必要な知識を身に付けてもらうための講座を実施した。

#### 1) 伝統工芸士認定等事業

経済産業大臣指定伝統的工芸品等の製造に関する伝統的な技術・技法に熟練した従事者の認定を行い、その知識・技術・技法の向上を図り、もって伝統的工芸品産業の振興に寄与することを目的として、従事年数12年以上の技術者を対象に試験を実施し、合格者の認定登録を行った。また、受験資格の12年に、研修期間を算入できる公的技術習得施設を追加し、若手でも優秀な従事者に伝統工芸士受験の機会を与えた。

##### ① 伝統工芸士審査委員会委員(順不同・敬称略)

委員長	宮崎 清	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会評議員
副委員長	増村 紀一郎	漆芸家、東京芸術大学名誉教授、重要無形文化財「髹漆」保持者
委員	池田 佳隆	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会副代表理事 京友禅協同組合連合会理事長
	中内 重則	経済産業省製造産業局伝統的工芸品産業室長
	野村 寛司	茨城県本場結城紬織物協同組合理事長
	林 克美	日本伝統工芸士会副会長、江戸切子伝統工芸士会会長
	原田 元	佐賀県陶磁器工業協同組合代表理事 (順不同・敬称略)

##### ② 認定試験の実施等

実施産地数・受験者数	46工芸品44産地・177名
合格者数	44工芸品44産地・138名
登録者数	44工芸品44産地・137名(平成29年2月25日付)
認定者数累計	7,683名

##### ③ 伝統工芸士審査委員会の開催

第1回審査委員会	28. 9. 7(水)	於:協会
第2回審査委員会	28. 12. 8(木)	於:協会

##### ④ 実技試験視察

実技試験の実施状況について、審査委員、伝産協会役職員が視察を行った。

・仙台箆笥	28. 10. 12(水)
・信州紬	28. 10. 13(木)
・有松・鳴海絞	28. 10. 13(木)
・知花花織	28. 10. 14(金)
・三条仏壇	28. 10. 17(月)

#### 2) 伝統工芸士研修会

伝統工芸士名簿に登録後、5年毎に受講し、伝統工芸士の技術及び知識水準の維持・向上を図る目的で実施。平成27年12月に「伝統工芸士認定事業実施要領」を一部改正したことで、今年度より5年研修を称号更新の位置付けで義務付け、これにより、受講を要する伝統工芸士の6%が登録抹消となった。

実施期間 28. 8. 16(火)～12. 10(土)  
 実施産地 83産地  
 受講者数 514名

### 3) 伝統工芸士叙勲の推薦

伝統工芸士の長年の産地振興の功績に対する叙勲(Ⅱ類)について、当協会の推薦により次の伝統工芸士が受章した。

受章者数 36名(累計 1,084名 男性:1,000名 女性:84名)

#### < 28.5.12 > 19名 瑞宝単光章

浅 藏 興 成 (九谷焼)	高 橋 達 也 (大阪欄間)
雨 宮 誠 一 (甲州水晶貴石細工)	高 橋 利 英 (村上木彫堆朱)
荒 川 叶 江 (有松・鳴海絞)	中 村 海 造 (西陣織)
上 野 正 次 (京友禅)	中 川 昭 三 (西陣織)
大 竹 勇 (三河仏壇)	宮 脇 正 孝 (播州三木打刃物)
大 橋 和 夫 (彦根仏壇)	村 田 隆 夫 (京友禅)
柿 本 市 郎 (加賀友禅)	山 田 清 志 (高岡漆器)
加 茂 勝 康 (越前打刃物)	山 田 文 雄 (京仏壇)
坂 口 芳 男 (京表具)	横 山 禧 一 (播州毛鉤)
清 水 源 二 (常滑焼)	

#### < 28.11.9 > 17名 瑞宝単光章

池 田 章 三 (京友禅)	木 原 行 成 (九谷焼)
石 塚 幸 夫 (東京染小紋)	木 村 憲 次 (備前焼)
大 鋸 薫 (名古屋友禅)	小 松 紀 夫 (置賜紬)
大 杉 明 (伊勢形紙)	重 田 忍 (本場大島紬)
大 高 繁 (津軽塗)	武 吉 國 明 (博多人形)
岡 田 邦 夫 (西陣織)	中 西 雅 明 (京友禅)
小 倉 貞 右 (東京手描友禅)	般 若 保 (高岡銅器)
小長谷 喜八郎 (西陣織)	船 津 祐 司 (越後与板打刃物)
亀 井 好 博 (京仏具)	

### 4) 功労者表彰等事業

伝統的工芸品産業の振興において、各々の立場から特に功績のあった方だけでなく、これまでいわゆる「日の当たらない」立場にありながら著しい功績のあった方や若手従事者等を顕彰することにより、伝統的工芸品産地の活性化に資することを目的とし、受賞者に表彰状及び記念品を贈呈した。

#### ① 伝統的工芸品産業大賞選考委員会委員

委員長	岩清水 晃	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会業務執行理事 岩手県南部鉄器協同組合連合会会長
委員	佐々木 辰 二	美濃焼伝統工芸品協同組合理事長
	武 吉 國 明	博多人形商工業協同組合理事長
	田 中 雅 一	京都府仏具協同組合理事長
	中 内 重 則	経済産業省製造産業局伝統的工芸品産業室長
	丸 山 博 志	全国中小企業団体中央会地域振興部長
	宮 原 正	木曾漆器工業協同組合代表理事

(順不同・敬称略)

② 選考委員会の開催 28.10.6(木) 於:協会

③ 受賞者 36名

a. グランプリ 1名

伊勢形紙 起 稔

b. 作り手部門功労賞 19名

旭川木彫 上山勇次 京鹿の子絞 後藤和弘

結城紬 森肇 京仏具 村上満

郷土玩具日光茶道具 安久都敏男 大阪泉州桐箆笥 松代友秋

東京銀器 金子武司 姫革細工 水田輝夫

常滑焼 岩橋眞吾 熊野筆 沖本信子

岡崎石工品 稲垣英夫 大谷焼 田村佳代

魚津漆器 鷹休雅人 桜井漆器 岡田博

金沢箔 出村重一 博多人形 戸畑潤吉

越前打刃物 増谷浩司 博多鋏 高柳晴一

彦根仏壇 清水隆司

c. 業界活性化部門功労賞 11名

天童将棋駒 武内昭博 西陣織 足立泰一

会津塗 大竹勉 京友禅 吉住徹

飯山仏壇 上海一徳 京小紋 安池勝

高岡銅器 駒澤義則 京指物 森久登志

綴錦 清原聖司 京仏壇 井上浩司

注連飾り 安田良雄

d. 若手奨励部門奨励賞 5名

江戸表具 高橋晃一 京仏壇・京仏具 安藤健作

西陣織 中尾友美 菊間瓦 小泉信三

京指物 近藤太一

④ 表彰 28.11.24(木) 鯖江市文化センター

第33回伝統的工芸品月間国民会議全国大会記念式典において

5) 児童・生徒に対する伝統的工芸品教育等事業

伝統工芸士等の職人が、小学生・中学生に対して、伝統的工芸品の特性、技術・技法、原材料に関する講習や、工芸品の製作体験を実施することにより、児童・生徒の伝統的工芸品に関する興味や関心を高めることを目指した。

実施産地組合数 109産地組合 (前年度 116産地組合)

実施学校数 705校 (前年度 790校。いずれも延べ申請件数)

受講者数 35,048名 (前年度 44,044名)

延べ実施日数 732日 (前年度 839日)

6) 伝統的工芸ふるさと体験・交流等事業

伝統的工芸品の製作実演及び製作体験指導を通じ、学生・社会人等が、伝統工芸士等の持つ技に直接触れる機会を増やし、伝統的工芸品に対する理解や愛着を深め、その産業を支える環境や従事者に対して関心を持ち、産地就労の契機とするために実施した。

「伝統的工芸品体験フェア」

実施団体数 52件 (前年度57件)

実施件数 152件 (前年度 126件)

参加者数 11,579名 (前年度 17,682名。いずれも体験参加者のみ、来場者は含まない)

就労実績 2産地5名

7) 伝統的工芸品産業従事者研修事業

伝統的工芸品産地の将来を担う若手従事者に必要な知識を身に付けてもらうための講座「DENSAN ACADEMY2016」を東北、近畿の2会場で実施した。

受講者	仙台会場	16名
	大阪会場	20名

2. 産地指導事業

産地の伝産表示対策適正化指導。生産額、従事者、原材料等不足状況等の実態を調査。

海外展開支援として、見本市等に出席後の商談・取引に対応するための出席者の事前準備や値決め、取引量、現地の法的な制約による商品選び、商慣習の実情等を出席事業者へに助言するセミナーを行った。

産地診断では、これまで試みた「健康診断と処方箋」でなく、産地組合の具体的な事業取組を「伴走」する支援を試みた。産地や事業者の「あるべき姿」との比較で全方位的に「強みと弱み」を指摘するより、「産地ごとに強みを伸ばすことを第一義とし、その障害になる部分を弱みと捉え、事業化に取り組むことを優先した。産地内意思統一に至らない例もあったが、この方向性を継続する。

1) 指定産地振興指導等事業

イ) 検査体制の整備促進事業

伝統的工芸品表示の適正化及び実施促進を図るため、下記の38産地に対し検査指導員を派遣し現地指導を行った。今後は適正に実施している産地名を公表して、表示事業への再認識を促す。

平成28年度産地組合検査指導実施産地

1	京鹿の子絞	28.4.20	20	江戸木目込人形(埼玉)	28.9.26
2	西陣織	28.4.21	21	岩槻人形	28.9.26
3	京仏壇、京仏具	28.4.21	22	弓浜餅	28.9.28
4	天童将棋駒	28.5.11	23	因州和紙	28.9.29
5	山形仏壇	28.5.12	24	九谷焼	28.10.25
6	美濃和紙	28.5.26	25	牛首紬	28.10.26
7	一位一刀彫	28.5.27	26	加賀友禅	28.10.27
8	小千谷縮、小千谷紬	28.6.22	27	大館曲げわっぱ	28.11.9
9	越後三条打刃物	28.6.23	28	樺細工	26.11.10
10	新潟漆器	28.6.24	29	川連漆器	28.11.11
11	木曾漆器	28.7.6	30	三川内焼	28.12.14
12	南木曾ろくろ細工	28.7.7	31	波佐見焼	28.12.15
13	信州紬	28.7.8	32	伊万里・有田焼	28.12.16
14	井波彫刻	28.7.28	33	赤津焼	29.1.24
15	高岡銅器	28.7.29	34	常滑焼	29.1.25
16	東京染小紋	28.8.25	35	名古屋仏壇	29.1.26
17	江戸木版画	28.8.26	36	播州毛鉤	29.2.14
18	会津塗	28.9.12	37	豊岡杞柳細工	29.2.15
19	奥会津編み組細工	28.9.13	38	江戸硝子	29.3.3

ロ) 産地振興の指導

指定産地組合等が策定する振興計画、共同振興計画、ならびに伝産表示規程に関する指導助言等を行ったほ

か、国との連携により、活性化事業、連携活性化事業及び支援事業の実施に資する情報提供を行った。

#### ハ) 海外展開支援コンサルティング

伝統的工芸品の海外展開を支援することを目的として、コンサルティング業者を選定し、セミナーや個別相談を行うなどのコンサルティングを行った。

海外展開セミナー 初級編	28. 8.23(火)	於:近畿経済産業局	参加者数 13名
	28. 8.25(木)	於:協会	参加者数 10名
海外展開セミナー 中級編	28.10.28(金)	於:協会	参加者数 8名
海外展開セミナー 中級/実践編	28.12.16(金)	於:近畿経済産業局	参加者数 11名

専門家のサポートにより、海外向けビジネスツールの整備、顧客に対する働きかけ、商談後のフォローアップを確実に行うなど、各事業者におけるプロフェッショナルな対応が徐々に可能となったことで、海外見本市等では活発な商談が増加。伝産協会ブースの常連バイヤーの訪問が増え、協会や出品事業者の認知度を定着させる効果も期待できる。

<主な内容>

- ・グローバルビジネスとは(国内ビジネスと海外ビジネスの違い)
- ・欧州市場と日本の伝統工芸品(欧州市場の基礎知識、消費者事情、日本伝統工芸品の市場、ターゲット)
- ・自社経営環境の調査(マーケティング分析による経営環境の調査)
- ・海外進出のための環境調査と準備(Web サイト、カタログ、その他必要資料)
- ・輸出価格の設定と利益の確保(ハイレベルなプレゼンテーションとビジネススキル、価格設定)
- ・海外ビジネスに初挑戦(見本市参加のシミュレーション)

### 2) 伝統的工芸品産地調査・診断等事業

#### イ) 調査・診断事業

産地が強化、推進を希望する取組内容について、専門家を派遣し、計画の立案等を行った。

本事業は、平成27年度より産地が積極的に取り組めるよう専門家を派遣するよう事業内容を見直したが、産地の意思統一が図れない事例や、事業終了後は、取組が推進されていない産地もある。過去実施産地の取組みが進まない理由を検証し、この事業を足掛かりに産地が前向きに問題に取り組めるよう検討する。

実施産地 出石焼、宮島細工

#### ロ) 産地実勢調査

伝統的工芸品産業の実勢の把握を目的として、国の工業統計、経済センサスを活用した経済産業大臣指定伝統的工芸品産地状況調査を行ったほか、産地における生産額、企業数及び従事者数に関する「実勢調査」を実施した。

### 3. 普及推進事業

普及広報では、新聞媒体広告と交通広告はイベント開催告知及び青山スクエア動員向上に絞り、伝統的工芸品や青山スクエア、伝統マークのPRは、個性的な暮らしを優先する等工芸品との親和性が高い読者層を持つと思われる媒体を中心に実施した。

伝統的工芸品の技の一端を視覚的に紹介するイメージ映像を作成し、オンライン広告としてホームページ及び You Tube 等で実施したほか、メールニュースを毎月配信した。

#### 1) 伝統的工芸品普及等事業

伝統的工芸品に対する消費者・流通関係者の理解の増進に努めるとともに、伝統工芸青山スクエア特別展開告知並びに各種展示会の告知を通じて、伝統マーク及び伝統的工芸品のPRを図った。

##### ① 新聞雑誌等

・「日本のきもの+ふらす」	1回	・「nid」	4回	・「Japan Walker」	4回
・「俳句」	1回	・「スタイリッシュキッチン」	1回	・「ザ・リョカンコレクション」	1回
・「オレンジページ」	1回	・「四季の味」	4回	・「美しいキモノ」	1回
・「てんとう虫」	1回	・「Casa BRUTUS」	3回	・「AFFLUENT」	1回
・「TOKYO DESIGN WEEK」	1回	・「週刊新潮」	1回	・「公益法人」	1回
・「Discover Japan」	1回	・「anan」	1回	・「キスポーツみなど区民まつり特集号」	1回
・「AERA」	1回	・「週刊朝日」	1回	・「和楽」	1回
・「産経新聞」	1回	・「読売新聞」	1回	・「朝日小学生新聞」	1回
・「週刊文春」	2回	・「サンデー毎日」	3回	・「週刊現代」	1回
・「女性自身」	1回	・「週刊女性」	1回	・「クロワッサン」	1回
・「女性セブン」	1回	・「&プレミアム」	2回	・「週刊ポスト」	1回
・「Hanako」	1回	・「21世紀鷹峯フォーラムガイドブック」	1回	・「Huffington Post」	1回

② ダイレクトメールの発行

規格 大型ハガキ版 表裏4色カラー 発行回数 4回

③ 伝統的工芸品イラストマップ

・品目数 222

日本語版 10,000 部

・品目数 225

日本語版 30,000 部 英語版 30,000 部

④ 映像制作

・伝統的工芸品イメージ映像(13産地)

喜如嘉の芭蕉布、京鹿の子絞、備前焼、津軽塗、村上木彫堆朱、高山茶釜、山形鋳物、三条仏壇、京石工芸品、博多人形、丸亀うちわ、甲州印伝、伊勢形紙

・映像公開 33産地 (協会ホームページ YouTube チャンネル)

PV 数 1,045,232 回 (国内 72,876 回 海外 972,356 回)

⑤ オンライン広告

・伝統的工芸品及び伝統工芸青山スクエアの PR を目的に、「Google」による検索連動型広告/Google DisplayNetwork/リマーケティング広告を実施した。

実施期間 平成28年8月～平成28年12月

⑥ 鉄道広告 車内吊り 看板・ポスター TVCM

・鉄道広告	JR 東日本トレインチャンネル(山手線系 セット版)	1回	29.3.6	～	29.3.12
・車内吊り広告	東京メトロ銀座線セット版	1回	29.3.6	～	29.3.12
・看板	都営地下鉄青山一丁目駅出口	1箇所	28.4.1	～	29.3.31
	東京メトロ青山一丁目駅構内	1箇所	28.4.1	～	29.3.31
	東京メトロ改札口看板(ナビタ)	5箇所	28.4.1	～	29.3.31
	THE PENNINSURA 東京	1箇所	28.4.1	～	29.3.31
	東京メロ 主要駅電飾看板	20箇所	29.3.1	～	29.3.31
・ポスター掲示・パンフレット配布	赤坂郵便局		28.4.4	～	29.3.31
・メロナビマップ配布	東京メトロ青山一丁目駅構内		28.4.1	～	29.3.31
・TVCM	テレビ東京		28.8.4	～	28.8.31

⑦ プレス強化策

・国内メディア・関係者等を対象としたメールニュース(DENSAN MAILNEWS)を配信した(月1回、計12回)

・海外メディア・関係者等を対象としたメールニュース(DENSAN NEWS LETTER)を配信した(4回)

⑧ 海外商標

中華人民共和国において「伝統マーク」の商標登録が認可された。

⑨ 無料広告

<紙媒体>



・「Meet The FURUSATO」 1回	・「赤坂・青山シニアファッションista」 1回	・「g-SPHERE」 1回
・「REALTY PRESS 青山」1回	・「FIND YOUR NEW STANDARD」 1回	・「公益法人」 1回
・「わ」 1回	・「家具新聞」 1回	・「Discover Japan」 1回
・「陶業時報」 1回	・「北陸中日新聞」 1回	・「北陸新聞」 2回
・「岩手日報」 1回	・「大分合同新聞」 2回	・「読売新聞」 1回
・「秋田魁新報社」 1回	・「家庭画報」 3回(京くみひも、益子焼、四日市萬古焼)	

<電波媒体>

・BS 日テレ「ぶらぶら美術・博物館」		28.7.15放送
・BS-TBS「関口宏ニッポン風土記」	宮城伝統こけし	29.2.18放送
・テレビ東京「ウソのような本当の瞬間！」	西陣織	29.3.21放送
・TBS テレビ「和心百景」 第1回 ～ 第3回	江戸指物	28.10. 1 ～ 10.15放送
・TBS テレビ「和心百景」 第4回 ～ 第6回	大館曲げわっぱ	28.10.22 ～ 11.5放送
・TBS テレビ「和心百景」 第7回 ～ 第9回	堺打刃物	28.11.12 ～ 11.26放送
・TBS テレビ「和心百景」 第10回 ～ 第12回	結城紬	28.12. 3 ～ 12.17放送
・TBS テレビ「和心百景」 第13回 ～ 第15回	金沢漆器	28.12.24 ～ 29.1.14放送
・TBS テレビ「和心百景」 第16回 ～ 第18回	京繡	29. 1.21 ～ 2. 4放送
・TBS テレビ「和心百景」 第19回 ～ 第21回	江戸木目込人形	29. 2.11 ～ 2.25放送
・TBS テレビ「和心百景」 第22回 ～ 第24回	土佐和紙	29. 3. 4 ～ 3.18放送

⑩ 訪日外国人誘致事業

年間約2千4百万人を超える訪日外国人に対する工芸品産地への誘致対策として、外国人インターンシップを活用し、外国人視点での産地訪問記をインターネット配信。産地組合に対しては産地が有する各種説明資料やホームページ等の外国語翻訳支援を行った。通訳案内士の団体と連携し団体客の産地訪問時に通訳を派遣する事業も支援メニューとした。

また、昨年度に引き続き、旅行事業者による土曜、日曜の都内観光ルートに青山スクエアを組み込み、実施した。

外国人取材産地	宮城伝統こけし、備前焼、阿波和紙、真壁石燈籠、伊勢形紙
パンフレットの翻訳	萩焼、丹波立杭焼、京繡、備前焼
ホームページの翻訳	丹波立杭焼、萩焼
看板の翻訳	堺打刃物

2) 伝統的工芸品の表示の推進

伝統証紙を発行するとともに、産地組合の伝統マーク利用の促進に努めた。伝統証紙の認知度が低いことから、使用工芸品数が多い業種の染織繊維を「婦人画報の美しいキモノ 2016 冬号 (No.258)」の付録本として、工芸品説明、産地商標などとともに伝統証紙と購入に役立つ「証紙ガイドブック」発行により一般消費者に対して伝統的工芸品ならびに伝統証紙を周知した。伝統証紙を貼付している工芸品について積極的にPRすることは、消費者に対して伝統的工芸品の認識を深めることができることから、今後も伝統証紙並びに伝統マークの利用を促進する。

イ) 伝統証紙事業

① 発行枚数 合計 195,000 枚(前年度 303,100 枚)

発行先内訳	染織品	75,800 枚	陶磁器	5,000 枚	漆器	5,200 枚
	木・竹工品	55,000 枚	金工品	11,000 枚	仏壇・仏具	0 枚
	和紙・文具	15,000 枚	石・人形・諸工	28,000 枚		

② 発行先数 23産地組合

ロ) 伝統マーク使用状況 総件数 352 件(前年度 398 件)

- ① パンフレット・ちらし・カタログ 計60件  
 地方公共団体 21件 産地組合等 31件 企業等 8件
- ② ダイレクトメール・はがき・封筒等 計17件  
 産地組合等 17件
- ③ ポスター・パネル等 計61件  
 地方公共団体 3件 産地組合等 21件 企業等 37件
- ④ 看板等 計6件  
 産地組合等 6件
- ⑤ 新聞広告 計13件  
 産地組合等 11件 企業等 2件
- ⑥ その他(名刺、HP、教材誌等) 計 196 件  
 地方公共団体 11件 産地組合等 138 件 企業等 47件

### 3) 伝統工芸青山スクエア等事業

産地事業者の市場ニーズ把握の一環である伝統工芸青山スクエア等事業は、経済産業大臣指定伝統的工芸品の総合展示場として、季節展示の実施、展示棚の照明のLED化を行い、展示効果を高めた結果、常設展の新規の出展産地が増えて活用度が向上した。また、特別展、匠コーナーの来場者及び出展者の調査を行い、今後の展示の参考となるデータを収集した。官公庁や企業のギフト需要は持続しており、オンラインショップ販売も順調に増加した。伝統的工芸品など産地の製品を魅力的な商材と見る民間事業者の問い合わせも顕著に増えている。

改善課題としては、安定的に増加している外国人来場者や友の会会員への情報発信、来店促進案内の強化、商品の魅力、産地・作者の情報を正しくタイムリーに伝えるための、売り場のレイアウトやゾーニング、品揃えや展示方法・提案方法などが挙げられる。

- ① 入場者数 124,024 名 月平均 10,335 名(前年度 126,703 名=月平均 10,559 名)
- ② 常設展示=127 工芸品+3工芸材料・用具 (前年度 118 工芸品+3工芸材料) ※新規出展
- 【織物】 15 結城紬、村山大島紬、多摩織、小千谷縮、小千谷紬、信州紬、牛首紬、西陣織、阿波正藍しじら織※、博多織、久留米緋、本場大島紬、久米島紬、首里織※、喜如嘉の芭蕉布※
- 【染色品】 5 東京手描友禅、有松・鳴海絞、京鹿の子絞、京友禅、京小紋
- 【その他繊維】 2 伊賀くみひも、京くみひも
- 【陶磁器】 25 大堀相馬焼、会津本郷焼、笠間焼、益子焼、九谷焼、美濃焼、常滑焼、赤津焼、瀬戸染付焼、四日市萬古焼、伊賀焼、京焼・清水焼、丹波立杭焼、出石焼※、備前焼、萩焼※、砥部焼、小石原焼、上野焼、伊万里・有田焼、三川内焼、波佐見焼、小代焼、薩摩焼、壺屋焼
- 【漆器】 18 津軽塗、秀衡塗、浄法寺塗、川連漆器、会津塗、鎌倉彫、村上木彫堆朱、新潟漆器、木曾漆器、高岡漆器、輪島塗、山中漆器、飛騨春慶、越前漆器、若狭塗、紀州漆器、大内塗、香川漆器
- 【木工品】 13 岩谷堂箆笥、樺細工、大館曲げわっぱ、江戸指物、箱根寄木細工、加茂桐箆笥、南木曾ろくろ細工、井波彫刻、京指物、大阪唐木指物、豊岡杞柳細工、紀州箆笥※、宮島細工
- 【竹工品】 5 駿河竹千筋細工、高山茶釜、別府竹細工、紀州へら竿、都城大弓
- 【金工品】 9 南部鉄器、東京銀器、燕鋤起銅器、高岡銅器、越前打刃物、堺打刃物、大阪浪華錫器、播州三木打刃物、肥後象がん
- 【仏壇・仏具】 4 新潟・白根仏壇、長岡仏壇、大阪仏壇、彦根仏壇(交替出品)
- 【和紙】 7 越中和紙、美濃和紙、越前和紙、因州和紙、石州和紙※、阿波和紙、土佐和紙
- 【文具】 8 豊橋筆、奈良筆、熊野筆、川尻筆、雄勝硯、赤間硯、鈴鹿墨、播州そろばん※
- 【石工品】 2 甲州水晶貴石細工、京石工芸品
- 【人形】 5 宮城伝統こけし、江戸木目込人形、岩槻人形、江戸節句人形、博多人形

【諸工芸品】 9 天童将棋駒、江戸からかみ、江戸切子、江戸硝子※、江戸木版画、甲州印伝、尾張七宝、京扇子、京うちわ

【材料・用具】 3 庄川挽物木地、金沢箔、伊勢形紙

③ 特別展示

a. 特別展の開催

特別展26回(※「公募展」を除く)、匠コーナー36回を開催し、延べ244工芸品(前年度253工芸品 ※「公募展」を除く)の指定工芸品等を展覧に供し、作り手と使い手との親密な交流に努めた。

b. 消費者参加企画

特別展開催に併せて、トークショー、製作実演及び体験教室を実施するなど、伝統的工芸品の理解促進に努めた。

④ その他事業

a. ぬりもの・やきものクリニック

柴田康時氏(輪島塗)の協力により、漆器・陶磁器の無料相談(修理希望者には実費修理)を実施した。(11回)

b. リボーン漆器

輪島塗の柴田康時氏、引持力雄氏の協力により、使われなくなった漆器を塗り直した製品を販売することにより、修理をすることで長い間使い続けることができることをアピールした。

c. 友の会の運営

会員数5,548名(29.3.31現在)(前年度4,712名)

積極的な勧誘を行い、多くの来場者が加入した。

d. 外部展示協力

イオン1%クラブに協力いただき「日本の伝統文化・伝統」を継承していくことを目的として開催。工芸品の持つ“日用品”としての用途と、現代人の抱く工芸品に対するイメージが乖離してきているため、一般消費者に工芸品をもっと身近に感じて頂くため「展示」のほか、「使う」「楽しむ」「買う」イベントを開催。

【開催日程】

第1回：28.12.17(土)、18(日) イオンモール盛岡 1F イーハトーブ広場

第2回：29.1.7(土)、8(日) イオンモール京都桂川 1F 川の広場

第3回：29.1.22(土)、23(日) イオンモール筑紫野 1F イーストコート

第4回：29.2.25(土)26(日) イオンモール幕張新都心 グランドモール 1F

4) 伝統的工芸品月間推進等事業

経済産業省の省議決定で創設された「伝統的工芸品月間」を中心に、伝統的工芸品の国民生活への浸透を推進するため、官民一体となって以下の事業を実施した。

イ) 「第33回伝統的工芸品月間国民会議全国大会」の開催

共 催 経済産業省、伝統的工芸品月間推進会議、福井県伝統的工芸品月間推進協議会

日 時 28.11.24(木) 13:30~14:30

会 場 鯖江市文化センター大ホール (福井県鯖江市)

祝 電 内閣総理大臣ほか 28通

参加人数 900名 (前年度900名)

式 次 第 主催者挨拶 経済産業大臣政務官 中 川 俊 直

福井山県伝統的工芸品月間推進協議会会長・福井県知事 西 川 一 誠

歓迎の辞 鯖江市長 牧 野 百 男

表 彰 経済産業大臣表彰(功労賞44名、奨励賞4名、優良団体賞1社)、  
中部経済産業局長表彰(22名)、伝統的工芸品産業大賞(36名)

受賞者代表挨拶 越前焼工業協同組合前理事長 司 辻 光 男

祝電披露

大会宣言 伝統的工芸品月間推進会議委員・  
一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会代表理事 安藤重良  
次期開催地挨拶 東京都副知事 中西 充

ロ) 「2016 伝統工芸ふれあい広場 ふくい」の開催

伝統的工芸品の普及及び啓蒙促進を目的として開催した。

後援 経済産業省、福井県伝統的工芸品月間推進協議会、青森県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、広島県、山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、京都市、独立行政法人中小企業基盤整備機構、日刊県民福井、中日新聞、FBC 福井放送、福井テレビ、FM福井、福井ケーブルテレビ、さかいケーブルテレビ、丹南ケーブルテレビ、福井街角放送、たんなんFM79.1MHz

会期 28.11.25(金)～11.27(日)

会場 サンドーム福井

入場者 約70,000名(前年度27,000名)

催事内容

a. 製作体験 25工芸品

【織物】塩沢紬 本塩沢 石田縞(指定外)	【染色品】東京染小紋 京小紋
【陶磁器】越前焼 信楽焼 波佐見焼	【漆器】越前漆器 若狭塗 紀州漆器 大内塗
【木工品】樺細工 奥会津編み組細工 井波彫刻	越前筆筥
【金工品】東京銀器 越前打刃物 肥後象がん	【和紙】越前和紙
【文具】奈良筆	【人形】博多人形
【その他】甲州手彫印章 京表具 山鹿灯籠	【材料】金沢箔

b. 特別展示

「繭から生糸まで」(展示・糸取り実演)	一般財団法人大日本蚕糸会
「漆ができるまで」(展示)	一般社団法人日本漆工協会
「テーブルコーディネート展」	食空間コーディネート協会
「三井ゴールデン匠賞」	三井広報委員会
「伝統工芸プロジェクトマッピング」	
「伝統工芸×アニメ&キャラクター展示」	

c. 都府県紹介パネル展示 32都府県

d. 伝統工芸ステージ

三井ゴールデン匠賞受賞者シンポジウム  
播州そろばんショー  
伝統的工芸品テーブルコーディネート講座  
おりがみ講座  
熊本県PR(熊本地震復興支援)  
高校生による越前和紙書道パフォーマンス  
西陣織十二単衣装着付け

ハ) 「2016 全国くらしの工芸展 ふくい」の開催

後援 経済産業省、福井県伝統的工芸品月間推進協議会、独立行政法人中小企業基盤整備機構

会期 28.11.25(金)～11.27(日)

会場 サンドーム福井

小間数 48小間(前年度52小間)

出展工芸品 36品目(前年度38品目)

入場者数 約 70,000 名（前年度 27,000 名）

ニ) 「第19回日本伝統工芸士会作品展」の開催

伝統工芸士が日頃より研鑽を重ねている技術・技法により制作した作品を展示紹介するとともに、コンクールを実施して各賞を授与した。

共 催 日本伝統工芸士会  
後 援 経済産業省、福井県、鯖江市、越前市、小浜市、越前町、日刊県民福井、中日新聞、  
FBC福井放送、福井テレビ  
会 期 28.11.25(金)～ 11.27(日)  
会 場 サンドーム福井  
出 品 数 183 点  
授 賞 数 衆議院議長賞1点、経済産業大臣賞1点、近畿経済産業局長賞1点、福井県知事賞1点、  
鯖江市長賞1点、越前市長賞1点、小浜市長賞1点、越前町長賞1点、  
日本伝統工芸士会会長賞1点、一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賞1点、  
福井放送賞1点、福井テレビ賞1点、日刊県民福井・中日新聞社賞1点、奨励賞4点  
※その他、東武百貨店審査委員の選定による東武百貨店賞1点、東武百貨店青年奨励賞1点、  
東武百貨店テーマ賞1点、東武百貨店特別賞2点を選定した。

ホ) 「伝統的工芸品展 WAZA2017」の開催

わが国経済が、需要の低迷、雇用情勢の悪化、持続的な物価の下落等の諸問題を抱えるなか、経済産業大臣指定伝統的工芸品をはじめ、全国の工芸品を一堂に集めた国内最大級の工芸品展を首都圏で開催し、日本の伝統技術の基盤といえる手作り技術の継承、向上について国民の理解と支援を喚起し、暮らしに工芸品を普及浸透させるために需要の拡大を図り、我が国のもの作り産業の振興と工芸品産業を有する地域経済の発展に資することを目的として開催した。

会場内にスクエアブースを設けて、小間出展のない伝統的工芸品の紹介を兼ね、生活スタイリストによる伝統的工芸品のある暮らしの提案、フードスタイリストによる伝統的工芸品の使用提案を行った。

伝統的工芸品は「日常生活の用に供するもの」である。「伝統的工芸品のある暮らし」を提案する試みを重ねる。

会 期 29.2.16 (木) ～ 2.21 (火)  
会 場 東武百貨店池袋店 8階催事場  
後 援 経済産業省、中小企業庁、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、栃木県、埼玉県、  
東京都、神奈川県、山梨県、静岡県、富山県、石川県、愛知県、福井県、滋賀県、京都府、  
奈良県、和歌山県、島根県、広島県、山口県、徳島県、福岡県、長崎県、鹿児島県、  
仙台市、さいたま市、名古屋市、京都市、福岡市、秋田市、和歌山市、日本商工会議所、  
全国商工会連合会、全国中小企業団体中央会、公益財団法人日本デザイン振興会、  
一般財団法人生活用品振興センター、一般財団法人地域活性化センター、  
独立行政法人中小企業基盤整備機構  
催事内容 経済産業大臣指定伝統的工芸品 86品目、ふるさと工芸品 11都府県出品  
製作実演 12品目（経済産業大臣指定伝統的工芸品10品目 ふるさと工芸品（都府県）2品目）  
東京手描友禅、萩焼、三川内焼、川連漆器、仙台箆笥、京指物、三河仏壇、  
博多人形、天童将棋駒、京扇子、  
木地人形（島根県）、いぶし鬼瓦（滋賀県）  
入場者数 134,008 名（前年度 133,161 名）  
そ の 他 生活スタイリスト 伊藤まさこ氏トークショー&工芸品のセレクト展示  
フードコーディネーター 飯島奈美氏トークショー  
制作体験、都府県紹介パンフコーナー

WAZA2017 における出品工芸品の業種別内訳

	出品数 (前回)	指定品目数		出品数 (前回)	指定品目数
織物	11 (12)	37	仏壇・仏具	6 (5)	17
染織品	4 (5)	11	和紙・文具	6 (6)	18
他繊維	0 (0)	4	貴石・石工品	1 (2)	6
陶磁器	12 (10)	31	人形	5 (5)	8
漆器	11 (11)	23	諸工芸	11 (10)	20
木竹品	14 (13)	32	材料・用具	1 (1)	3
金工品	4 (4)	15	合計	86 (84)	225

へ) JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK 2016(JTCW2016)の開催

伝統的工芸品に対する国内外の消費者・流通関係者への理解の増進及び伝統的工芸品の生産者と消費者の交流を目的として「JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK 2016(以下、JTCW 2016)」を開催した。

今年で3回目となったこのイベントでは、昨年よりも規模を拡大して、青山・六本木エリア、銀座・丸の内エリアの東京41店舗、名古屋17店舗に加え、大阪神戸エリア22店舗のインテリア・ファッション・専門店などのショップが参加。伝統的工芸品の展示販売、実演、ワークショップに加え、コラボレーション商品の発表、スタンプラリーを実施した。

会 期 28.10.22 (土)～11.3 (木)

メイン会場 東 京 伝統工芸 青山スクエア  
 名 古 屋 名古屋PARCO  
 大阪・神戸 梅田 蔦屋書店

サテライト会場 東 京 リビングデザインセンター (10.27(木)～11.3(木)(11.2除))

東京都内41店舗(青山スクエア含む)、名古屋地区17店舗、大阪神戸エリア22店舗 計80店舗 80工芸品  
 参加した販売店側が工芸品への理解を深めることにより、消費者に伝達され、あらたな世代や愛好者を増やすきっかけとなり、最先端の販売担当者に作り手を理解する動きを広げるには有意義である。工芸品の製造者が自ら消費者と対話することは有効だが、規模の小さい事業者や消費地から遠い産地等の場合、その負担が大きい。顧客と販売のノウハウを持つ専門店のプロとがタグを組むことにより、互いの立場を理解・尊重することができれば、製造者は本来の仕事に専念でき、より良い工芸品を多く製造することは効率的である。積極的に販売店の意見を取り込んだ17の工芸品については、会期終了から約5ヶ月後の3月末時点でも取引が継続している。

5) 経済産業省ロビーにおける伝統的工芸品の展示

伝統的工芸品月間の時期に合わせ、経済産業省のロビーにおいて、伝統的工芸品を展示するとともに JTCW 2016、伝統的工芸品月間各種催事等についてPRをした。

会 期 28.11.1(火)～11.15(火)

6) ITを活用した伝統的工芸品活性化等事業

ホームページにおいて経済産業大臣指定伝統的工芸品の総合的な情報発信を行ったほか、オンラインショップを開設し、全国の伝統的工芸品の一部をインターネット上に掲載した。

HP閲覧分析結果

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
閲覧者数(人)	26,171	33,034	37,276	45,402	59,742	66,761
閲覧頁数(件)	140,525	178,419	165,087	222,942	267,008	247,970

10月	11月	12月	1月	2月	3月
44,710	49,986	94,143	61,981	75,402	64,379
212,585	223,520	282,913	256,594	277,010	259,573

ホームページ掲載工芸品数 225 工芸品 オンラインショップ掲載点数 605 点

ホームページは、情報発信機能を拡充し鮮度の高い情報発信を行うとともに、閲覧情報の解析を行い利用者の利便性を高める改善を進めた。また、伝統マークの周知や伝統工芸会館情報の拡充などを行った。

ホームページは産地の後継者不足、原材料・用具不足等の現状や、新商品開発・販売活動等も含めて、より具体的な情報を広く発信することができるツールである。伝統的工芸品産業に国民各層が関心を寄せ、他産業分野からの支援が広がり、ビジネスが生まれる機会に繋がることで、伝統的工芸品産業を支える動きの拡大や、原材料・用具・人材等に関する全産地間情報システム構築にも展望が持てることを理解頂くよう粘り強く努める。

#### 7) 各種イベントへの後援等

産地組合、関係地方自治体からの申請に対し、後援等名義の使用を承認した(75件)。

## 4. 需要開拓事業

### 1) 伝統的工芸品公募展等事業

本展では、伝統的工芸品の作り手に作品を公募し、審査のうえ入選作品展を開催することで、日ごろ積み重ねている技術・技法を評価するとともに、現代生活で使われ続けるための需要を喚起する目的で開催した。

募集する作品は見て愛でるためのものではなく「日常生活で使用するもの」、そのためには実用性を兼ね備え、消費者意識をとらえるための工夫やアイデアが表現された作品を評価の対象とした。

技術の完成度と市場トレンド対応の双方を備える作品審査を行ったが、応募作品は質量ともに不十分であり、本展の方向性の周知を徹底し、応募点数と水準の向上が必要である。

#### ① 開催概要

名 称	平成28年度全国伝統的工芸品公募展		
後 援	経済産業省、中小企業庁、日本商工会議所、全国商工会連合会、全国中小企業団体中央会		
応 募	工芸品数90品目 / 応募数 147 点 / 応募者数 134 名		
入 選	46点		
審査会	28.12.15 (木)	於：協会	
作品展	全国伝統的工芸品公募展 ー入選作品展ー		
会 期	28.12.23 (金) ～29.1.11 (水)		
会 場	伝統工芸青山スクエア		

#### ② 審査委員

委員長	増 村 紀一郎	東京芸術大学名誉教授、重要無形文化財「髹漆」保持者
副委員長	加 藤 庄 平	有限会社丸窯製陶所代表取締役
委 員	安 藤 重 良	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会代表理事
	黒 川 廣 子	東京芸術大学 大学美術館教授
	小 泉 和 子	昭和のくらし博物館館長
	関 根 由 子	家庭通信社代表
	中 内 重 則	経済産業省製造産業局伝統的工芸品産業室室長
	棚 町 敦 子	「美しいキモノ」エディトリアル スーパーバイザー
	林 克 美	日本伝統工芸士会副会長

日野明子 クラフトバイヤー  
 御手洗照子 T-POT代表取締役  
 吉田龍太郎 株式会社プレステージジャパン代表取締役

(順不同・敬称略)

③ 審査結果 入賞11点

【内閣総理大臣賞】	山中漆器	蒔絵盃	針谷 祐之
【経済産業大臣賞】	木曾漆器	緑罅塗 摺り仕上げ大皿	西野 孝章
【経済産業省製造産業局長賞】	九谷焼	緑彩線文組鉢	宮本 雅夫
【中小企業庁長官賞】	木曾漆器	漆塗りカトラリーKOKU (凜)	かみみつ漆器店 深澤兼司
【日本商工会議所会頭賞】	赤津焼	赤津焼 7釉のうつわ	宮地 生成
【全国商工会連合会会長賞】	備前焼	備前・スタッキングカップ	出製 陶
【全国中小企業団体中央会会長賞】	南部鉄器	丸棗形麻の葉模様	佐々木 奈美
【一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賞】	別府竹細工	透かし波網代バッグ (煤)	岡田 晃
【日本伝統工芸士会会長賞】	大館曲げわっぱ	白木飯器 5寸、6寸、7寸	柴田 昌正
【特別賞】	鍋島緞通	鍋島緞通「星花」「雪待」	吉島 ひろ子
	唐津焼	絵唐津草文向付	唐津屋 太兵衛

全国伝統的工芸品公募展における出品工芸品の業種別内訳

業種	応募作品							
	指定		非指定		産地計		出品数	
	H28	対前年	H28	対前年	H28	対前年	H28	対前年
織物	9	-3	8	-1	17	-4	26	-8
染色品	3	-2	3	-3	6	-5	12	-9
その他 繊維製品	0	-3	3	-2	3	-5	4	-10
陶磁器	13	3	2	0	15	3	27	2
漆器	9	-3	1	1	10	-2	24	-5
木工品	3	-3	3	-6	6	-9	10	-7
竹工品	1	0	0	-3	1	-3	4	-2
金工品	3	-2	1	-2	4	-4	8	-6
仏壇・仏具	2	0	2	1	4	1	5	2
和紙	1	1	1	0	2	1	2	1
文具	1	-1	1	0	2	-1	2	-1
貴石細工	1	0	0	0	1	0	1	0
人形・こけし	1	0	1	1	2	1	2	0
諸工芸品	1	-3	16	4	17	1	20	-1
合計	48	-16	42	-10	90	-26	147	-44
指定＝経済大臣指定伝統的工芸品，非指定＝経済大臣指定を受けていない工芸品								

2) フォーラム等事業

伝統的工芸品の「技や素材」を活かして、現代のニーズにマッチする新しい商品づくりを支援するため、伝統的工芸品作りの技能を有する「作り手」と、さまざまな分野の外部専門家とが参加する8産地8研究会を設置して、現代生活に求められる新商品を開発した。今年度は、「インテリアライフスタイル展」に参加したことにより、メディアの取材を受けてPRに結びつけたほか、流通関係者にアピールすることにより、販売取扱い先をひろげ、百貨店での企画展も



開催されるなど幅広く販売・PR の機会を得た。JAPAN BRAND FESTIVAL では、日頃伝統的工芸品に関心が薄い若年層に伝統的工芸品の魅力をアピールすることができた。

- ① 交流会 参加希望者相互に情報を提供し、互いに「新しい商品づくり」の協力者を探す期間を設定。交流会を開催して作り手とパートナー希望者の情報交換・相互交流を行った。  
 参 加 57社(作り手:19社、パートナー候補:38社)  
 日時場所 28.5.23(月) 於:協会
- ② 審査委員会 審査委員会委員(敬称略・50音順)  
 委員長 桐 山 登士樹 株式会社TRUNK代表/富山県総合デザインセンター  
 デザインディレクター  
 委 員 酒 井 正 明 一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会専務理事  
 田 中 智 子 株式会社三越伊勢丹リビングソリューション営業部部长  
 長 山 智 美 インテリアスタイリスト  
 廣 川 玉 枝 SOMA DESIGN ファッションデザイナー  
 山 田 遊 株式会社メソッド代表取締役  
 期 日 第1回 28.7.14(木)  
 第2回 28.8.9(火) (各回とも協会にて開催)
- ③ 中間報告会 開発中の製品について各研究会から中間報告を行い、審査委員より評価・助言を行った。  
 期 日 第1回 28.10.5(水)  
 第2回 28.12.2(金) (各回とも協会にて開催)
- ④ 成果発表 デザイナー・バイヤー・プレス関係者を招いて成果発表会を行った。  
 発表会 日 時 29.2.23(木) 16:00~19:00 於:協会  
 来場者 35人 (デザイナー・バイヤー)
- ⑤ 成果展示会 平成27年度に開発した新商品6件を展示した。  
 展示会 会 期 28.4.15(金) ~20(水)  
 会 場 伝統工芸青山スクエア  
 出 展 6件(6産地) 約60点
- ⑥ インテリアライフスタイル TOKYO への出展  
 会 期 28.6.1(水) ~3(金)  
 会 場 東京ビッグサイト  
 出 展 18件(13産地) 約120点
- ⑦ JAPAN BRAND FESTIVAL への出展  
 会 期 29. 3. 1(水) ~5(日)  
 会 場 渋谷ヒカリエ 8/CUBE,aiiima1,2,3  
 出 展 6件(6産地) 約40点

### 3) 伝統的工芸品普及・展示等事業

伝統的工芸品とその作り手の周知を拡大するための展示会等は伊勢志摩サミット関連催事、関東ブロック工芸品展など関連諸団体と連携して実施した。訪日滞在客の直近情報窓口であるホテルコンシェルジュに魅力を体感頂けた。工芸品を本格的な蘊蓄で語るより、「日本」を面白さ、楽しさから語れる「翻訳者」の拡大は今後一層有効と考える。

#### イ) 「伊勢志摩サミット関連催事」出展

##### a. プレイベント「女性職人サミット東京」

経済産業省伝統的工芸品産業室と JETRO の主催により、G7 (伊勢志摩) サミット各国の女性伝統工芸職人を招いて産地の視察を行い、その様子の動画を見ながら、翌日シンポジウムを行った。

会 期 28.5.18(水) 伝統的工芸品産地見学ツアー(江戸指物、江戸木版画、東京染小紋)

28.5.19(木) 女性職人シンポジウム (Google YouTube Space)

b. 伊勢志摩サミット国際メディアセンター (IMC) 広報展示

伊勢志摩サミットに隣接する国際メディアセンターにおいて諸外国のプレス関係者等に伝統的工芸品の展示及び制作実演を行い世界に発信した。

会 期 28.5.24(火)～5.27(金) 関係者対象 (トルドー カナダ首相夫人等)  
28.5.28(土)～6.3(金) 一般公開 (来場者 約 3,200 名)  
制作実演 伊勢形紙 (2回)、伊賀くみひも、高山茶釜

ロ) 「関東ブロック伝統的工芸品展 2016」の開催

伝統的工芸品の普及啓発を推進する目的で、関東甲信越静地区の伝統的工芸品を集めた展示会を開催した。

後 援 関東経済産業局、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県

会 期 27.11.4(金)～ 11.6(日)

会 場 ヒューリックホール

催事内容 管内伝統的工芸品及び産地製品の展示 28品目  
伝統工芸士などによる制作実演 14品目  
体験コーナー 7品目

入場者数 625 名

ハ) ツーリズムEXPOジャパン 2016 への参加

国内外の観光事業関係者が出展する「ツーリズムEXPOジャパン 2016」に参加し、伝統的工芸品と、工芸品産地へ観光客を誘致するため、制作実演披露、制作体験指導、伝統芸能の披露及び伝産会館施設 PR を行った。

名 称 ツーリズムEXPOジャパン 2016

期 間 28.9.23(金)～ 9.25(日)

会 場 東京ビッグサイト東館

出展工芸品 結城紬、近江上布、越前焼、波佐見焼、越前漆器、仙台箆筒、樺細工、越前箆筒、越前打刃物、越前和紙、江戸木版画、丸亀うちわ、山鹿灯籠

事業実施後の産地状況

- ①国内旅行者の増加 波佐見焼、樺細工、江戸木版画
- ②海外旅行者の増加 樺細工、越前和紙、江戸木版画
- ③旅行業関係者からの問合せ 波佐見焼、越前打刃物、江戸木版画、丸亀うちわ、山鹿灯籠
- ④新聞・雑誌等の取材、掲載 結城紬、近江上布、波佐見焼、越前打刃物、江戸木版画、山鹿灯籠
- ⑤TV・ラジオの取材、放送 結城紬、波佐見焼、越前漆器、越前打刃物、江戸木版画、山鹿灯籠

地元自治体との連携をうまく行った産地は、会期終了後に産地訪問の問合せやマスコミからの取材が増えたところも見られた。産地誘致には産地組合のみの取組では大きな効果を得る事は難しく、地元の自治体や商工・観光諸団体との連携が不可欠であることが再認識された。今後、協会の産地支援事業と各自自治体が有する誘致対策を連携することが必要である。

4) 海外展開支援等事業

伝統的工芸技術を活用した商品の海外市場開拓を目指し、以下を実施した。

まず、伝統的工芸品産業製品及び製造者が海外事業者から取引相手として信頼を得るべく、日本の誠実な

もの作りの姿勢や、歴史・文化を背景とした独自性などを世界へ発信した。参加した大規模な海外展示会/見本市では、数回の継続出展が功を奏し、現地のプレス関係者やバイヤー等に「DENSAN」の認知が確実に広がっていることを実感。出展者を確実な取引成立に導き成功事例を残すとともに、海外出展未経験者の呼びかけと参加の誘導が今後の課題となっている。

第二に、欧米全体へのトレンド発信地でもあるフランス・パリにおいて B to B 取引の活性化と市場への継続的なアプローチを目的とするショールームを開設し、伝産協会の欧州における拠点として運営開始した。展示は定期的に新しく入れ替わり、より多くの方々に伝統技術への理解を深めていただくため、作り手の実演や講演など、様々なイベントを企画し、現地バイヤー、メディア等への訴求力を高める取り組みを展開中である。

平行して、伝統的工芸品をインテリア建材やファッションテキスタイル素材として、欧州の設計事務所、ホテル、大手アパレルブランド等へ訴求するための取組みを開始。フランス・パリにて展示商談会を行った。

#### ① ミラノデザインウィーク 2016

日本の伝統的工芸品産地からデザイン性に優れ欧州市場での需要見込みのある60品目を選定し、世界最大のデザインイベント・ミラノデザインウィークで展示し、大量生産を目的とした工業製品には得られない独自の商品として世界へ向けて発信した。

会 期 28.4.12(火)～4.17(土)

会 場 ミラノ商工会議所(PALAZZO GIURECONSULTI)

出品工芸品

【織 物】 近江上布、西陣織、久留米緋、本場大島紬

【染色品】 東京染小紋、京友禅

【陶磁器】 常滑焼、瀬戸染付焼、越前焼、京焼・清水焼、石見焼、備前焼、砥部焼、伊万里・有田焼、三川内焼、薩摩焼、壺屋焼

【漆 器】 津軽塗、秀衡塗、会津塗、鎌倉彫、新潟漆器、木曾漆器、輪島塗、山中漆器、紀州漆器、香川漆器

【木工品】 樺細工、大館曲げわっぱ、箱根寄木細工、南木曾ろくろ細工、井波彫刻、京指物

【竹工品】 駿河竹千筋細工、別府竹細工

【金工品】 南部鉄器、山形鋳物、東京銀器、高岡銅器、大阪浪華錫器、播州三木打刃物

【仏 壇】 彦根仏壇

【和 紙】 越中和紙、越前和紙、石州和紙

【文 具】 雄勝硯、熊野筆

【石工品】 真壁石燈籠

【人形・こけし】 宮城伝統こけし、江戸木目込人形

【諸工芸】 甲州印伝

【工芸材料】 金沢箔

(一部工芸品で複数事業者が出展)

#### ② ESPACE DENSAN(エスパス デンサン)

欧米全体へのトレンド発信地でもあるフランス・パリにおいて海外の新たな販路を広げるため、伝産協会の欧州における拠点としてショールームを運営し、BtoB 取引に向けた様々なプログラムの展開を開始した。

開店に先立ち、Paris Design Week 会場に出展し、事前告知を行った。

##### a. Paris Design Week

会 期 28.9.3(土)～10(土)

会 場 Cite de la mode et design

##### b. ESPACE DENSAN

開 店 28.10.1(土)

出展工芸品 10～11月 三川内焼、会津塗、山形鋳物

- 11～12月 江戸硝子
- 12～ 1月 山中漆器、熊野筆
- 2 ～ 3月 近江上布、備前焼、土佐打刃物

③ 伝統技術のマテリアル BtoB ビジネス展示商談会

伝統的工芸品をインテリア建材やファッションテキスタイル素材として、欧州の設計事務所、ホテル、大手アパレルブランド等へ訴求するための展示商談会をフランス・パリにて開催した。

- 会 期 29.1.18(水)～28(土)
- 会 場 アトリエ・ブランマント(Atelier Blanc Manteaux)
- 参加団体 三才(西陣織)
- 熊谷聡商店(京焼・清水焼)
- 木曾アルテック社(木曾漆器)
- モメンタムファクトリー・Orii(高岡銅器)
- 杉原商店(越前和紙)

④ Ambiente アンビエンテ 2017/国際消費財見本市

- 開催期間 29.2.10(金)～14(火) 5日間
- 会 場 ドイツ・フランクフルト国際見本市会場
- 出展ブース Galleria 0. A04, A05
- テーマ DISCOVER JAPANESE TRADITIONAL CRAFTS
- 参加団体

- |                            |                     |
|----------------------------|---------------------|
| 織元酒井織物有限会社(本塩沢)            | 滋賀県麻織物工業協同組合(近江上布)  |
| 渡文株式会社(西陣織)                | 昇苑くみひも(京くみひも)       |
| 備前焼のお店 DAIKURA(備前焼)        | 有限会社平戸洗祥団右エ門窯(三川内焼) |
| うるしアートはりや(山中漆器)            | 有限会社鑄心ノ工房(山形鑄物)     |
| 有限会社モメンタムファクトリー・Orii(高岡銅器) | 谷口・青谷和紙株式会社(因州和紙)   |
| 広島筆産業株式会社(熊野筆)             |                     |

5) 有力企業との連携の推進

婚活会社ツヴァイとの連携を推進し、伝統的工芸品の新しい需要層の開拓を図った。

**5. その他の振興事業**

同一業種による情報交換等を目的に、それぞれの団体において下記のとおり開催され、当協会は側面的に支援し、連携の促進に努めた。

1) 日本伝統工芸士会

- ① 産地伝統工芸士会会長会議(総会)の開催
  - 28.6.1(水) ホテルメトロポリタン(東京都豊島区)
- ② 第35回全国伝統工芸士大会の開催
  - 28.11.24(木) 鯖江市文化センター(福井県鯖江市)
- ③ 第3回日本伝統工芸士会秀作展の開催
  - 29.3.2(木)～3.7(火) 東武百貨店(東京都豊島区)

2) 全国伝産会館連絡協議会

- 運営検討会の開催
  - 29.2.3(金) 京都伝統産業ふれあい館(京都府京都市)

3) 全国伝統的工芸品仏壇仏具組合連合会

- ① 総会の開催
  - 28.6.13(金) 於:協会

- ② 全仏展検討会の開催  
28.7.19(火) 於:彦根商工会議所
- ③ 事務局会議の開催  
28.9.15(木) 於:協会
- ④ 第23回全国伝統的工芸品仏壇仏具展の開催  
29.2.25(土)～29.2.27(月) 東京都立産業貿易センター台東館(東京都台東区)

## II. 法人の概況

### 1. 設立年月日

平成23年5月26日

### 2. 定款に定める目的

この法人は、伝統的工芸品産業の振興を図り、もって国民の生活に豊かさと潤いを与えるとともに地域経済の発展に寄与し、国民経済の健全な発展に資することを目的とする。

### 3. 定款に定める事業内容

- 1) 伝統的工芸品の製造の事業に関する経営の改善及び合理化その他当該事業の健全な経営に関し、調査、研究及び指導を行うこと。
- 2) 展示会の開催その他需要の開拓を行うこと。
- 3) 会員に対し、伝統的工芸品に関する需要の状況、製造の技術又は技法、原材料等について情報の提供を行うこと。
- 4) 伝統的工芸品産業に関する振興計画及び共同振興計画の作成及びその実施について指導、助言等を行うこと。
- 5) 伝統的工芸品の原材料、製造過程、品質等の改善に関する研究を行うこと。
- 6) 伝統的工芸品及び伝統的工芸品を素材とした製品の品質表示について指導、助言等を行うこと。
- 7) 伝統的工芸品に関する資料の収集及び調査を行うこと。
- 8) 伝統的な技術又は技法に熟練した従事者の認定を行うこと。
- 9) 伝統的工芸品産業に関する活性化事業、連携活性化事業及び支援事業の実施に必要な情報の提供を行うこと。
- 10) 伝統的工芸品産業の後継者の育成、技術・技法の継承及び改善に関する事業を行うこと。
- 11) 伝統的工芸品及び伝統的工芸品に関連する物品の販売の事業を行うこと。
- 12) その他この法人の目的を達成するため、必要な事業を行うこと。

### 4. 会員の状況

会 員	29. 3. 31現在	28. 3. 31現在
産地組合	230	230
団 体	44	43
企業・個人	132	134
都府県・政令市	56	56
市区町村	119	119
合 計	581	582

### 5. 主たる事務所の状況

〒107-0052 東京都港区赤坂8丁目1番22号

## 6. 役員等に関する事項

### 1) 役員

年度当初の役員（理事14名・監事2名）

代表理事	安藤重良	名古屋七宝協同組合理事長(尾張七宝)
副代表理事	池田佳隆	京友禅協同組合連合会理事長(京友禅、京小紋)
業務執行理事	岩清水晃	岩手県南部鉄器協同組合連合会会長(南部鉄器)
理事	氏家史貴	伝統工芸高岡漆器協同組合理事長(高岡漆器)
	窪田茂	本場大島紬織物協同組合理事長(本場大島紬)
	西郷隆文	鹿児島県薩摩焼協同組合理事長(薩摩焼)
	杉下晃造	京都刺繍協同組合理事長(京繡)
	沼井光博	大洲手すき和紙協同組合理事長(大洲和紙)
	松崎光正	東京都雛人形工業協同組合理事長 (江戸木目込人形/江戸節句人形)
	宮川孝昭	彦根仏壇事業協同組合理事長(彦根仏壇)
	森將	東京金銀器工業協同組合理事長(東京銀器)
	吉田正一	石川県九谷陶磁器商工業協同組合連合会理事長(九谷焼)
専務理事	酒井正明	一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会
常務理事	秋葉和生	一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会
監事	加藤庄平	有限会社丸窯製陶所代表取締役
	阿久津正志	阿久津総合法律事務所

### \* 監事の移動

28. 6. 10 就任 山田ひさの 山田法律特許事務所

### 2) 評議員

年度当初の評議員（9名）

井上一郎	株式会社アサソー ディ・ケイ ADK ソーシャル・デザイン・ラボ所長
越智良典	一般社団法人日本旅行業協会理事・事務局長
久保田治秀	長野県織物工業組合理事長(信州紬)
後藤準	全国商工会連合会常務理事
眞銅竜日郎	独立行政法人日本貿易振興機構理事
田中皓	公益財団法人助成財団センター専務理事
長野健	大分合同新聞社代表取締役会長
宮崎清	国立大学法人千葉大学名誉教授
渡邊隆夫	西陣織工業組合理事長(西陣織)

### Ⅲ. 役員会等に関する事項

#### 1. 理事会の開催

##### 1) 第29回理事会

開催日	28.5.20(金)
会場	当協会会議室
出席理事	13名
議案	第1号議案 平成28年度 収支予算の変更について 第2号議案 評議員会に対する監事補充候補者の選任について 第3号議案 外部法人による監査の導入の再提案について 第4号議案 過年度未収金の処理について 第5号議案 平成27年度事業報告及び収支決算について 第6号議案 平成27年度公益目的支出計画実施報告について 第7号議案 青山スクエア管理職員の採用方向について
報告事項	(1) 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について (2) 平成27年度 青山スクエア年次報告について (3) ミラノサローネ出展報告について (4) 理事会交流会決算報告について (5) 産地連絡会議報告について (6) 平成27年度出品者協議会収支決算報告について

##### 2) 第30回理事会

開催日	28.11.25(金)
会場	サンドーム福井 管理会議棟 102 研修室
出席理事	11名
議案	第1号議案 外部業者への業務委託に関する契約規程の改定について 第2号議案 伝統的工芸品コンクール、展示会等に対する協会名義等の使用に関する規程の承認基準への変更について 第3号議案 平成29年度伝統的工芸品月間国民会議東京全国大会関連催事の開催について
報告事項	(1) 伝産協会 平成28年度上半期(4～9月)収支状況について (2) 出品者協議会 平成28年度上半期(4～9月)収支状況について (3) ESPACE DENSAN 開館報告 (4) 平成28年度 WAZA 展の概要／29.2.16(木)～21(火) (5) 自由民主党伝統的工芸品産業振興議員連盟総会開催報告 (6) 平成29年6月の理事任期満了に伴う改選準備 (7) 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

##### 3) 第31回理事会

開催日	29.3.17(金)
会場	当協会会議室
出席理事	12名
議案	第1号議案 理事改選の準備案について 第2号議案 平成29年度 事業計画及び収支予算について 第3号議案 ふるさと体験・交流事業新規従事者支援事業の実施要領(抄)について 第4号議案 青山スクエア相談員の雇用契約延長について 第5号議案 理事会の開催について 第6号議案 定時評議員会の開催について



- 報告事項 (1)伝統的工芸品展 WAZA2017 開催結果速報について  
(2)海外展の経過報告について  
(3)伝統的工芸品月間福井大会開催報告について  
(4)消費税の還付について  
(5)事業所税の追徴について  
(6)代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について

## 2. 第11回評議員会の開催

- 開催日 28.6.10(金)  
会場 当協会会議室  
出席評議員 8名  
議案 第1号議案 平成27年度 事業報告及び収支決算について  
第2号議案 監事の選任について  
報告事項 (1)平成27年度公益目的支出計画実施報告について  
(2)平成27年度青山スクエア年次報告について  
(3)平成27年度出品者協議会収支決算報告について  
(4)ミラノサローネ出展報告について

## 3. 第6回伝統的工芸品産地連絡会議の開催

- 開催日 28.9.14(水)  
会場 弘済会館4階会議室「萩」  
協会説明 (1)事業実績・来期構想の紹介について  
(2)産地からのご意見紹介について

## 4. 業務執行会議の開催

28. 4.20(水)  
28. 5.18(水)  
28. 6.15(水)  
28. 7.20(水)  
28. 8.22(月)  
28. 9.14(水)  
28.10.26(水)  
28.11.16(水)  
28.12.14(水)  
29. 1.17(火)  
29. 2. 8(水)  
29. 3. 9(木)

#### IV. 庶務事項

##### 1. 基本財産の造成

※下記1)、2)の表の金額は、時価評価ではなく、実際にご入金いただいた金額を記載

###### 1) 基本財産の内訳

単位:円

区 分	平成 28 年度	昭和 50 年度～平成 27 年度	累 計
国	0	300,000,000	300,000,000
地方公共団体	0	295,000,000	295,000,000
民 間	0	185,645,000	185,645,000
伝統的工芸品産業振興協会	0	860,000	860,000
計	0	781,505,000	781,505,000

###### 2) 民間寄付金・負担金の業種別状況

単位:円

業種	平成 28 年度		昭和 50 年度～平成 27 年度		累 計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
織 物	0	0	41	32,600,000	41	32,600,000
染色・繊維製品	0	0	27	11,440,000	27	11,440,000
陶 磁 器	0	0	39	12,850,000	39	12,850,000
漆 器	0	0	25	7,690,000	25	7,690,000
木 竹 品	0	0	35	10,500,000	35	10,500,000
金 工 品	0	0	21	5,000,000	21	5,000,000
仏 壇	0	0	18	5,425,000	18	5,425,000
和紙・文具	0	0	31	4,750,000	31	4,750,000
諸工芸品	0	0	42	8,250,000	42	8,250,000
銀 行 等	0	0	9	75,000,000	9	75,000,000
団 体・個人	0	0	29	12,140,000	29	12,140,000
計	0	0	317	185,645,000	317	185,645,000

##### 2. 収支及び正味財産増減の状況並びに財産の状態の推移

単位:百万円

事業年度	29年3月期	28年3月期	27年3月期	26年3月期	25年3月期	24年3月期
前期繰越収支差額	15	16	9	17	45	48
当期収入合計	1,041	1,002	965	804	1,211	966
当期支出合計	1,013	1,003	958	812	1,239	969
当期収支差額	28	△1	7	△8	△28	△3
次期繰越収支差額	43	15	16	9	17	45
資産合計	1,019	1,026	990	997	1,069	1,182
負債合計	143	149	140	166	220	319
正味財産	876	877	850	831	849	863

### 3. その他の庶務事項

- 1) 登記  
28.9.26 評議員、監事の変更
- 2) 監事監査  
28. 5.13 平成 27 年度事業及び決算に対する監査
- 3) 補助金監査等  
28. 4.19～22 平成 27 年度補助金確定監査(経済産業省)  
28. 5. 9～12 平成 27 年度収支決算についての調査(岡部公認会計士事務所)  
28. 7.12～13 会計実地検査(会計検査院)
- 4) 報告  
28. 6.24 内閣総理大臣宛 公益目的支出計画実施報告書提出(電子申請)
- 5) 国庫補助金関係手続  
28. 3.29 平成 28 年度交付申請  
28. 4. 1 平成 28 年度交付決定  
28. 4. 8 平成 27 年度実績報告  
28. 5.11 平成 28 年度第 1 回概算払請求  
28. 5.20 平成 28 年度第 1 回交付 80,000,000 円  
28. 5.30 平成 27 年度補助金額確定  
28. 7.28 平成 28 年度第 1 四半期報告  
28. 7.28 平成 28 年度第 2 回概算払請求  
28. 8. 8 平成 28 年度第 2 回交付 120,000,000 円  
28.10.26 平成 28 年度第 2 四半期報告  
28.10.26 平成 28 年度第 3 回概算払請求  
28.11. 9 平成 28 年度第 3 回交付 200,000,000 円  
29. 1.23 平成 28 年度第 3 四半期報告  
29. 1.31 平成 28 年度計画変更承認申請  
29. 2. 9 平成 28 年度計画変更承認  
29. 1.23 平成 28 年度第 4 回概算払請求  
29. 1.30 平成 28 年度第 4 回交付 150,000,000 円  
29. 2.22 平成 28 年度第 5 回概算払請求  
29. 2.28 平成 27 年度修正実績報告  
29. 2.28 平成 28 年度第 5 回交付 150,000,000 円  
29. 3.28 平成 26 年度及び平成27年度補助金額再確定

#### 4. 会員名簿 (581)

○会員名簿(順不同)29.3.31現在

指定品の産地組合(230)※2業種に同じ産地組合

##### <織物>(37)

二風谷民芸組合※  
置賜紬伝統織物協同組合  
羽越しな布振興協議会  
茨城県本場結城紬織物協同組合  
栃木県本場結城紬織物協同組合  
伊勢崎織物工業組合  
桐生織物協同組合  
秩父銘仙協同組合  
村山織物協同組合  
黄八丈織物協同組合  
八王子織物工業組合  
塩沢織物工業協同組合  
小千谷織物同業協同組合  
十日町織物工業協同組合  
長野県織物工業組合  
石川県牛首紬生産振興協同組合  
滋賀県麻織物工業協同組合  
西陣織工業組合  
鳥取県弓浜緋協同組合  
阿波しじら織協同組合  
博多織工業組合  
久留米緋協同組合  
都城絹織物事業協同組合  
鹿児島県本場大島紬協同組合連合会  
本場奄美大島紬協同組合  
本場大島紬織物協同組合  
鹿児島県絹織物工業組合  
久米島紬事業協同組合  
宮古織物事業協同組合  
読谷山花織事業協同組合  
琉球緋事業協同組合  
那覇伝統織物事業協同組合  
与那国町伝統織物協同組合  
喜如嘉芭蕉布事業協同組合  
竹富町織物事業協同組合  
石垣市織物事業協同組合  
知花花織事業協同組合

##### <染色>(17)

東京都染色工業協同組合  
東京都工芸染色協同組合

協同組合加賀染振興協会  
愛知県絞工業組合  
名古屋友禅黒紋付協同組合連合会  
京鹿の子絞振興協同組合  
京都絞工業協同組合  
京友禅協同組合連合会  
京都友禅協同組合  
京都誂友禅工業協同組合  
京都工芸染匠協同組合  
京都手描友禅協同組合  
京都黒染工業協同組合  
京都紋章糊置協同組合  
京都紋章工芸協同組合  
京都染色補正工業協同組合  
琉球びんがた事業協同組合

##### <繊維その他>(4)

石川県加賀刺繍協同組合  
三重県組紐協同組合  
京都刺繍協同組合  
京くみひも工業協同組合

##### <陶磁器>(31)

大堀相馬焼協同組合  
会津本郷焼事業協同組合  
笠間焼協同組合  
益子焼協同組合  
石川県九谷陶磁器商工業協同組合連合会  
とこなめ焼協同組合  
美濃焼伝統工芸品協同組合  
赤津焼工業協同組合  
瀬戸染付焼工業協同組合  
萬古陶磁器工業協同組合  
伊賀焼振興協同組合  
越前焼工業協同組合  
信楽陶器工業協同組合  
京都陶磁器協同組合連合会  
丹波立杭陶磁器協同組合  
出石焼陶友会  
石見陶器工業協同組合  
協同組合岡山県備前焼陶友会  
萩陶芸家協会  
大谷焼陶業協会  
砥部焼協同組合  
小石原焼陶器協同組合  
上野焼協同組合  
佐賀県陶磁器工業協同組合

唐津焼協同組合  
三川内陶磁器工業協同組合  
波佐見陶磁器工業協同組合  
小代焼窯元の会  
天草陶磁振興協議会  
鹿児島県薩摩焼協同組合  
壺屋陶器事業協同組合

#### <漆器> (22)

青森県漆器協同組合連合会  
岩手県漆器協同組合  
鳴子漆器協同組合  
秋田県漆器工業協同組合  
会津漆器協同組合  
伝統鎌倉彫事業協同組合  
伝統小田原漆器組合  
村上堆朱事業協同組合  
新潟市漆器同業組合  
木曾漆器工業協同組合  
伝統工芸高岡漆器協同組合  
輪島漆器商工業協同組合  
山中漆器連合協同組合  
金沢漆器商工業協同組合  
飛騨春慶連合協同組合  
越前漆器協同組合  
若狭漆器協同組合  
京都漆器工芸協同組合  
紀州漆器協同組合  
大内塗漆器振興協同組合  
香川県漆器工業協同組合  
琉球漆器事業協同組合

#### <木工品・竹工品> (31)

二風谷民芸組合※  
岩谷堂箆笥生産協同組合  
仙台箆笥協同組合  
角館工芸協同組合  
大館曲げわっぱ協同組合  
秋田杉桶樽協会  
奥会津三島編組品振興協議会  
春日部桐たんす組合  
江戸指物協同組合  
江戸和竿組合  
小田原箱根伝統寄木協同組合  
静岡竹工芸協同組合  
加茂箆笥協同組合  
松本家具工芸協同組合

南木曾ろくろ工芸協同組合  
名古屋桐箆笥工業協同組合  
飛騨一位一刀彫協同組合  
井波彫刻協同組合  
越前指物組合  
京都木工芸協同組合  
大阪欄間工芸協同組合  
大阪唐木指物協同組合  
大阪泉州桐箆笥製造協同組合  
大阪簾工業協同組合  
兵庫県杞柳製品協同組合  
奈良県高山茶釜生産協同組合  
紀州桐箆笥協同組合  
紀州製竿組合  
宮島細工協同組合  
別府竹製品協同組合  
都城弓製造業協同組合

#### <金工品> (15)

岩手県南部鉄器協同組合連合会  
山形鋳物伝統工芸組合  
東京金銀器工業協同組合  
東京アンチモニー工芸協同組合  
燕銅器工芸組合  
越後与板打刃物組合  
越後三条鍛冶集団  
信州打刃物工業協同組合  
伝統工芸高岡銅器振興協同組合  
越前打刃物産地協同組合連合会  
堺刃物商工業協同組合連合会  
錫器事業協同組合  
三木工業協同組合  
高知県土佐刃物連合協同組合  
肥後象がん振興会

#### <仏壇・仏具> (16)

山形県仏壇商工業協同組合  
新潟仏壇組合  
白根佛壇協同組合  
長岡地域仏壇協同組合  
三条・燕・西蒲仏壇組合  
飯山仏壇事業協同組合  
金沢仏壇商工業協同組合  
七尾仏壇協同組合  
名古屋仏壇商工協同組合  
三河仏壇振興協同組合  
彦根仏壇事業協同組合

京都府仏具協同組合  
大阪宗教用具商工協同組合  
広島宗教用具商工協同組合  
八女福島仏壇仏具協同組合  
鹿児島県川辺仏壇協同組合

**<和紙> (9)**

内山紙協同組合  
富山県和紙協同組合  
美濃手すき和紙協同組合  
福井県和紙工業協同組合  
鳥取県因州和紙協同組合  
石州和紙協同組合  
阿波手漉和紙商工業協同組合  
大洲手すき和紙協同組合  
高知県手すき和紙協同組合

**<文具> (11)**

雄勝硯生産販売協同組合  
豊橋筆振興協同組合  
鈴鹿製墨協同組合  
播州算盤工芸品協同組合  
兵庫県木珠事業協同組合  
播州算盤製造業組合  
奈良毛筆協同組合  
雲州算盤協同組合  
熊野筆事業協同組合  
川尻毛筆事業協同組合  
山口県赤間硯生産協同組合

**<石工品・貴石細工> (7)**

真壁石材協同組合  
山梨県水晶美術彫刻協同組合  
岡崎石製品協同組合連合会  
京都府石材業協同組合  
鳥取県石灯籠協同組合  
松江石灯ろう協同組合  
来待石灯ろう協同組合

**<人形・こけし> (9)**

鳴子木地玩具協同組合  
遠刈田伝統こけし木地玩具業協同組合  
弥治郎こけし業協同組合  
仙台地区伝統こけし工人組合  
東京都雛人形工業協同組合  
岩槻人形協同組合  
駿河雛人形伝統工芸士会

京人形商工業協同組合  
博多人形商工業協同組合

**<その他> (19)**

山形県将棋駒協同組合  
房州うちわ振興協議会  
江戸からかみ協同組合  
江戸切子協同組合  
東京伝統木版画工芸協同組合  
一般社団法人東部硝子工業会  
東京鼈甲組合連合会  
甲府印伝商工業協同組合  
山梨県印章店協同組合  
岐阜提灯協同組合  
七宝町七宝焼生産者協同組合  
名古屋七宝協同組合  
京都扇子団扇商工協同組合  
京表具協同組合連合会  
播州釣針協同組合  
福山邦楽器製造業協同組合  
香川県うちわ協同組合連合会  
八女提灯協同組合  
山鹿灯籠振興会

**<工芸用具・工芸材料> (3)**

庄川木工協同組合  
石川県箔商工業協同組合  
伊勢形紙協同組合

指定品以外の組合・団体・企業(176)

**<商工会議所> (7)**

東京商工会議所  
十日町商工会議所  
鈴鹿商工会議所  
彦根商工会議所  
京都商工会議所  
広島商工会議所  
福岡商工会議所

**<団体> (37)**

伊予手抄和紙振興会  
協同組合瀬戸内ファニチャー  
(一財)京都伝統工芸産業支援センター  
(公財)京都伝統産業交流センター  
京都伝統産業青年会  
京都陶磁器卸商業協同組合  
(一財)京都陶磁器協会

(一財)熊本県伝統工芸館  
黒谷和紙振興会  
(一財)経済産業調査会  
埼玉県小川和紙工業協同組合  
(一財)省エネルギーセンター  
全国染色協同組合連合会  
全国伝産会館運営連絡協議会  
全国伝産金工品組合協議会  
全国伝産陶磁器組合協議会  
全国伝産和紙筆墨硯組合協議会  
全国伝統的工芸品仏壇仏具組合連合会  
全国籐商工業連合会  
(一社)全日本きもの振興会  
(一財)大日本蚕糸会  
(公財)高岡地域地場産業センター  
(一財)地域伝統芸能活用センター  
伝統的工芸品出品者協議会  
東京都漆器商工業協同組合  
奈良県工芸協会  
奈良製墨協同組合  
日本漆器協同組合連合会  
(一社)日本漆工協会  
(公社)日本図案家協会  
日本伝統工芸士会  
(一社)日本伝統染色工芸保存協会  
(一財)日本陶業連盟  
(一社)日本人形協会  
福岡県伝統的工芸品振興協議会  
三井広報委員会  
映画デンサン実行委員会

**<銀行> (6)**

商工組合中央金庫  
住友信託銀行(株)  
(一社)全国地方銀行協会  
三菱信託銀行(株)  
(株)三菱東京 UFJ 銀行  
(株)りそな銀行

**<企業・個人> (126)**

(株)相澤企画  
(株)愛知印刷工業  
(有)愛知屋総本店  
(株)愛知屋佛壇本舗  
阿久澤宏一郎  
浅井仏壇店  
(株)浅野商店

アスクール(株)  
泉屋(株)  
(株)和泉利器製作所  
(有)出雲屋家具製作所  
一和堂工芸(株)  
井上スダレ(株)  
(有)井上彦兵衛商店  
(株)伊保石匠社  
今井崇子  
岩手県産(株)  
(株)岩野平三郎製紙所  
(有)岩谷堂家具センター  
(株)印伝屋 上原勇七  
(株)うかい仏具店  
(株)永楽屋  
大阪錫器(株)  
大阪仏壇仏具センター(株)越前屋  
大澤美術鑄造所  
大淵木芸  
(株)オゼキ  
(株)お仏壇のコガ  
(有)家具のあづま  
(株)笠井仏壇工芸  
(株)学研教育出版  
(有)カネキン小椋製盆所  
川合康夫  
川嶋信之  
(株)岸タンス店  
岐津(株)きづな堂  
木下らんま店  
(有)桐の蔵  
近畿日本ツーリスト(株)関東営業本部  
(株)久保田号  
(株)熊木  
(株)クラーチ  
(株)弘報社  
小出大佛本店  
河野打刃物 河野忠喜  
(有)工房田中  
(有)近藤仏壇店  
佐藤哲夫  
(有)さとくガーデン  
(株)三和エフエムデザイン  
(株)C.A.L.  
(株)シガ木工茂木団扇  
(有)茂野タンス店  
漆器山富

(有)漆芸しばた  
(株)シメノ  
(有)進誠堂  
(株)杉浦仏壇店  
(株)鈴木佛壇店  
スミス・インターナショナル・ジャパン(株)  
誠心堂  
(株)西武百貨店  
(株)ソーゴブレイン  
(株)大黒屋佛壇店  
(株)ダイヤモンド社  
高辻康弘  
(株)高橋新吾タンス店  
高橋芳郎タンス店  
詫間宝石彫刻  
(株)田中家具製作所  
(株)タビックス・ジャパン  
(株)箆笥の松本  
(株)ツヴァイ  
(株)つかもと  
土山健介  
常石造船(株)  
露木啓雄  
東武鉄道(株)  
(株)東武百貨店  
東北電力(株)  
東洋佐々木ガラス(株)  
TOTO(株)  
(株)東レ経営研究所  
(株)TRUNK  
(株)トナ佛宝堂  
永井長吉タンス店  
中澤唐木(株)  
(有)中島徽章  
ナカダ(株)  
(有)永田刃物  
(株)永田屋仏壇店  
(有)中根佛壇店  
(株)ナビバード  
成田商事(株)  
日本文教出版(株)  
(有)にんぎょっ子  
(株)野村仏壇店  
橋本屋仏壇店  
(株)ビータス  
(有)ひでや  
(有)廣川仏壇店

FolkVisual Japan  
(株)福宝  
(株)藤木伝四郎商店  
(有)ブレインカフェ  
ホクエツ印刷(株)  
(株)マネジメントパートナーズ  
(株)まほろ印工  
(株)三越日本橋本店  
(株)三村松  
(株)宮岸仏具  
モテギ(株)  
(株)森繁  
森谷大仏堂  
柳田昌信  
(株)山谷産業  
(株)やまと  
(有)山本石材店  
ユーシーカード(株)  
(株)郵趣サービス社  
吉村勝博  
(株)米永  
(株)Ryu Gin Japan  
(有)蓮華堂  
(株)若山仏壇店  
渡邊恒子





## 5. 平成 28 年度作成資料等一覧

### 1) 実施要領等

伝統工芸士試験受験要領  
伝統工芸士認定事業試験実施の手引き  
伝統工芸士認定事業事務処理解説書  
伝統工芸士読本(研修・試験テキスト)  
児童・生徒に対する伝統的工芸品教育事業実施要領  
伝統的工芸ふるさと体験・交流事業実施要領  
伝統工芸青山スクエア出品のご案内  
JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK2016 開催要綱  
2016 伝統工芸ふれあい広場・ふくい開催骨子  
2016 全国くらしの工芸展・ふくい開催要項  
伝統的工芸品産業大賞実施要項  
伝統的工芸品展 WAZA2017 開催要綱  
伝統的工芸品展 WAZA2017 出品の手引き  
全国伝統的工芸品公募展応募要項  
フォーラム事業実施要領  
外国人による伝統的工芸品産地紹介事業実施要領  
インバウンド事業実施要領  
JAPAN TRADITIONAL CRAFTS MILANO SQUARE 出品の手引き  
ESPACE DENSAN 出品の手引き  
Ambiente2018 出品の手引き

### 2) 報告書

伝統工芸士認定事業報告書  
児童・生徒に対する伝統的工芸品教育事業報告書  
伝統的工芸ふるさと体験・交流事業報告書  
第 33 回伝統的工芸品月間国民会議全国大会報告書  
2016 伝統工芸ふれあい広場・ふくい報告書  
JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK2016 報告書  
伝統的工芸品展 WAZA2017 報告書  
全国伝統的工芸品公募展報告書  
MILAN DESIGN WEEK2016 報告書  
伝統技術のマテリアル BtoB ビジネス展示商談会 2016 年度 活動報告  
Ambiente アンビエンテ 2017 報告書  
フランス・パリ ESPACE DENSAN 活動報告  
フォーラム事業報告書

### 3) ポスター・パンフレット・書籍等

伝統工芸士試験ポスター  
伝統工芸青山スクエア特別展 DM  
JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK2016 ポスター  
2016 伝統工芸ふれあい広場・ふくしまパンフレット  
関東ブロック伝統的工芸品展 2016 ポスター  
関東ブロック伝統的工芸品展 2016 チラシ  
伝統的工芸品展 WAZA2017 ポスター  
伝統的工芸品展 WAZA2017 チラシ  
伝統的工芸品展 WAZA2017 外国人向けパンフレット(英語版・繁体字版・簡体字版)  
伝統的工芸品展 WAZA2017DM

全国伝統的工芸品公募展作品募集ポスター  
全国伝統的工芸品公募展チラシ  
伝統工芸青山スクエアサインパネル  
伝統工芸青山スクエアパンフレット(中国語版)  
伝統工芸青山スクエアショップカード(日本語版・英語版)  
伝統工芸青山スクエア特別展ポスター(赤坂郵便局)  
MILAN DESIGN WEEK2016 パンフレット  
ESPACE DENSAN ショールームパンフレット  
JAPAN ARTISAN MATERIAL パンフレット  
Ambiente2018 出展パンフレット  
伝統的工芸品イラストマップ(225 品目版)  
伝統的工芸品イラストマップ英語版(225 品目版)  
伝統的工芸品和英文パンフレット(225 品目版)  
伝統工芸青山スクエアメロナビマップ  
伝統的工芸品エコバッグ



# 平成28年度 収支決算書

## I. 財務諸表

1. 貸借対照表 .....	3 6
2. 正味財産増減計算書 .....	3 7 ~ 4 2
3. 財産目録 .....	4 3
4. 財務諸表に対する注記 .....	4 4 ~ 4 7
5. 附属明細書 .....	4 8

# 貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	449,863	1,236,758	△ 786,895
貯蔵品	1,104,776	881,024	223,752
銀行預金	114,659,311	81,255,324	33,403,987
有価証券	0	63,742	△ 63,742
未収金	10,921,513	16,019,639	△ 5,098,126
前払金	414,920	9,764,900	△ 9,349,980
仮払金	1,890,549	3,214,448	△ 1,323,899
流動資産合計	129,440,932	112,435,835	17,005,097
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	689,284,500	820,769,000	△ 131,484,500
銀行預金	81,010,566	38,066	80,972,500
基本財産合計	770,295,066	820,807,066	△ 50,512,000
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	52,003,182	22,339,356	29,663,826
運営強化基金資産	50,000,000	50,000,000	0
特定資産合計	102,003,182	72,339,356	29,663,826
(3) その他の固定資産			
什器備品	16,481,776	20,000,098	△ 3,518,322
電話加入権	643,078	643,078	0
その他の固定資産合計	17,124,854	20,643,176	△ 3,518,322
固定資産合計	889,423,102	913,789,598	△ 24,366,496
資産合計	1,018,864,034	1,026,225,433	△ 7,361,399
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	83,252,658	93,211,277	△ 9,958,619
預り金	1,219,824	988,240	231,584
前受金	1,088,000	1,170,000	△ 82,000
仮受金	757,593	2,437,350	△ 1,679,757
賞与引当金	4,932,778	4,523,635	409,143
流動負債合計	91,250,853	102,330,502	△ 11,079,649
2. 固定負債			
退職給付引当金	52,003,182	46,900,659	5,102,523
固定負債合計	52,003,182	46,900,659	5,102,523
負債合計	143,254,035	149,231,161	△ 5,977,126
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
国庫補助金	300,000,000	300,000,000	0
地方公共団体寄付金	295,000,000	295,000,000	0
民間寄付金	175,295,066	225,807,066	△ 50,512,000
指定正味財産合計	770,295,066	820,807,066	△ 50,512,000
(うち基本財産への充当額)	(770,295,066)	(820,807,066)	(△ 50,512,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	105,314,933	56,187,206	49,127,727
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	0
正味財産合計	875,609,999	876,994,272	△ 1,384,273
負債及び正味財産合計	1,018,864,034	1,026,225,433	△ 7,361,399



科 目	当年度	前年度	増減
選定員謝金	75,000	160,000	△ 85,000
選定員旅費	7,740	50,130	△ 42,390
実演費	16,833,596	13,852,644	2,980,952
説明員旅費	15,493,703	16,712,847	△ 1,219,144
消費者相談員謝金	2,692,106	3,149,667	△ 457,561
試験費	3,911,355	2,445,644	1,465,711
認定費	236,574	155,250	81,324
交流会費	105,840	0	105,840
調査・診断費	12,817,338	25,812,333	△ 12,994,995
研究会費	4,970,730	5,178,528	△ 207,798
備品費	441,845	326,160	115,685
光熱水料	3,169,124	3,821,656	△ 652,532
内装費	324,000	1,669,809	△ 1,345,809
梱包運送費	17,640,264	20,004,730	△ 2,364,466
装飾費	114,870,084	122,515,452	△ 7,645,368
資料購入費	643,470	710,819	△ 67,349
職員旅費	7,758,885	13,483,483	△ 5,724,598
アルバイト賃金	35,823,589	42,766,917	△ 6,943,328
印刷費	10,698,259	8,248,292	2,449,967
審査員謝金	300,000	300,000	0
審査員旅費	126,840	22,910	103,930
写真撮影費	233,380	118,800	114,580
通信運搬費	7,247,619	10,008,938	△ 2,761,319
消耗品費	1,923,245	2,368,133	△ 444,888
雑役務費	48,273,237	48,843,096	△ 569,859
清掃料	2,663,280	2,663,280	0
警備費	777,550	761,074	16,476
保険料	2,723,180	3,160,831	△ 437,651
試作費	678,240	756,000	△ 77,760
実演トーク開催費	40,211,654	61,947,475	△ 21,735,821
法定福利費(アルバイト)	3,428,667	4,314,383	△ 885,716
栄典費	42,905	38,182	4,723
研修会開催費	1,311,651	1,721,641	△ 409,990
証紙等製造費	1,435,280	1,563,134	△ 127,854
イベント開催費	51,081,290	61,773,248	△ 10,691,958
外国人誘致費	659,173	749,499	△ 90,326
記念品費	3,009,355	2,889,134	120,221
伝統的工芸品WAZA展引当金繰入支出	2,000,000	2,000,000	0
雑費	5,862,848	5,935,843	△ 72,995
租税公課	377,592	273,000	104,592
減価償却費	3,770,435	3,241,262	529,173



科 目	当年度	前年度	増減
②管理費	73,896,786	75,790,488	△ 1,893,702
役員報酬	3,660,000	4,905,000	△ 1,245,000
職員給与	9,737,076	7,953,743	1,783,333
法定福利費(役職員)	1,921,807	1,811,011	110,796
退職給付費用	918,463	1,406,258	△ 487,795
賞与引当金繰入額	887,909	771,287	116,622
借料及び損料	31,428,772	31,511,846	△ 83,074
備品費	127,872	133,803	△ 5,931
光熱水料	1,326,403	1,365,875	△ 39,472
通信運搬費	1,355,471	671,307	684,164
雑役務費	12,087,108	9,858,269	2,228,839
清掃料	1,129,260	1,131,312	△ 2,052
印刷製本費	194,184	250,300	△ 56,116
委員等旅費	3,132,500	4,332,320	△ 1,199,820
会議費	1,071,363	508,840	562,523
職員旅費	1,182,092	656,902	525,190
消耗品費	386,473	404,898	△ 18,425
法定福利費(アルバイト)	535,260	678,337	△ 143,077
厚生費	151,569	134,293	17,276
雑費	748,400	1,634,776	△ 886,376
租税公課	1,883,606	5,636,278	△ 3,752,672
減価償却費	31,198	33,833	△ 2,635
經常費用計	990,816,173	1,011,226,594	△ 20,410,421
当期經常増減額	33,158,930	△ 9,306,647	42,465,577
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度消費税還付金	17,642,687	0	17,642,687
經常外収益計	17,642,687	0	17,642,687
(2) 経常外費用			
過年度事業支出	1,673,890	0	1,673,890
經常外費用計	1,673,890	0	1,673,890
当期經常外増減額	15,968,797	0	15,968,797
当期一般正味財産増減額	49,127,727	△ 9,306,647	58,434,374
一般正味財産期首残高	56,187,206	65,493,853	△ 9,306,647
一般正味財産期末残高	105,314,933	56,187,206	49,127,727
II 指定正味財産増減の部			0
(1) 基本財産収入	0	350,000	△ 350,000
(2) 基本財産評価損益	△ 50,512,000	36,411,500	△ 86,923,500
(3) 基本財産受取利息(償却原価)	0	0	0
当期指定正味財産増減額	△ 50,512,000	36,761,500	△ 87,273,500
指定正味財産期首残高	820,807,066	784,045,566	36,761,500
指定正味財産期末残高	770,295,066	820,807,066	△ 50,512,000
			0
III 正味財産期末残高	875,609,999	876,994,272	△ 1,384,273







平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

科 目	実施事業等会計														その他会計						法人会計	内部取引控除	合計						
	伝統工芸士	功勞	教育	ふるさと	振興指導	産地診断	普及	センター	月間推進	IT活用	公募展	フォーラム	活用展	子ども体験	図画・作文	共通	小計	普及展示	海外展示	伝統証紙				工芸士展	連携推進	共通	小計		
備品処分損																										0		0	
減価償却費																											31,198		31,198
支払負担金																											0		0
支払寄付金																											0		0
支払利息																											0		0
有価証券運用損																											0		0
<b>経常費用計</b>	23,643,279	1,640,192	98,898,611	45,571,858	12,887,160	18,524,427	103,074,548	179,015,667	164,574,621	7,734,878	7,447,868	18,081,609	0	43,122,408	0	0	724,217,126	26,698,871	111,005,203	3,570,034	3,983,906	47,444,247	0	192,702,261	73,896,786	0	990,816,173		
評価損益等調整前当期経常増減額	400,708	△ 814,842	△ 2,161,962	△ 1,742,210	△ 1,635,805	△ 2,646,952	△ 6,304,049	9,787,121	△ 2,489,045	△ 1,810,490	△ 2,035,082	△ 4,318,680	0	△ 1,724,909	0	0	△ 17,496,197	△ 3,475,969	△ 11,716,521	△ 1,609,225	△ 1,258,584	8,440,256	0	△ 9,620,043	60,275,170	0	33,158,930		
基本財産評価損益等																	0								0			0	
特定資産評価損益等																	0								0			0	
投資有価証券評価損益等																	0								0			0	
評価損益等計																	0								0	0	0	0	
当期経常増減額	400,708	△ 814,842	△ 2,161,962	△ 1,742,210	△ 1,635,805	△ 2,646,952	△ 6,304,049	9,787,121	△ 2,489,045	△ 1,810,490	△ 2,035,082	△ 4,318,680	0	△ 1,724,909	0	0	△ 17,496,197	△ 3,475,969	△ 11,716,521	△ 1,609,225	△ 1,258,584	8,440,256	0	△ 9,620,043	60,275,170	0	33,158,930		
2. 経常外増減の部																	0								0			0	
(1) 経常外収益																										0			0
退職給付引当金戻入益																	0								0			0	
賞与引当金戻入益																												0	
特定引当金取崩収入																												0	
過年度消費税還付金																	0								0	17,642,687		17,642,687	
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17,642,687	0	17,642,687	
(2) 経常外費用																													0
固定資産売却損																	0									0			0
特別会計繰入金支出																													0
特定引当金取得支出																													0
国庫補助金返納金支出																													0
過年度事業費支出																	0		1,673,890						1,673,890			1,673,890	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,673,890	0	0	0	0	0	1,673,890	0	0	1,673,890	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 1,673,890	0	0	0	0	0	△ 1,673,890	17,642,687	0	15,968,797	
他会計振替額																	0								0			0	
当期一般正味財産増減額	400,708	△ 814,842	△ 2,161,962	△ 1,742,210	△ 1,635,805	△ 2,646,952	△ 6,304,049	9,787,121	△ 2,489,045	△ 1,810,490	△ 2,035,082	△ 4,318,680	0	△ 1,724,909	0	0	△ 17,496,197	△ 3,475,969	△ 13,390,411	△ 1,609,225	△ 1,258,584	8,440,256	0	△ 11,293,933	77,917,857	0	49,127,727		
一般正味財産期首残高																													56,187,206
一般正味財産期末残高																													105,314,933
II 指定正味財産増減の部																													0
①基本財産収入																													0
②基本財産評価損益																													△ 50,512,000
③基本財産受取利息(償却原価)																													
当期指定正味財産増減額																													△ 50,512,000
指定正味財産期首残高																													820,807,066
指定正味財産期末残高																													770,295,066
III 正味財産期末残高																													875,609,999

財 産 目 録  
平成29年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
現金	現金手元有高	449,863
貯蔵品	切手および伝統証紙有高	1,104,776
銀行預金	三菱東京UFJ銀行他	114,659,311
有価証券		0
未収金	WAZA2017負担金他	10,921,513
前払金	展示場動産保険他	414,920
仮払金		1,890,549
流動資産合計		129,440,932
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
投資有価証券	利付国債	304,227,000
	社債ほか	385,057,500
銀行預金	普通預金(三菱東京UFJ他)	81,010,566
基本財産合計		770,295,066
(2) 特定資産		
退職給付引当資産	退職給与分	52,003,182
運営強化基金資産		50,000,000
特定資産合計		102,003,182
(3) その他の固定資産		
什器備品	事務用備品、センター備品	16,481,776
電話加入権	NTT	643,078
その他の固定資産合計		17,124,854
固定資産合計		889,423,102
資産合計		1,018,864,034
<b>II 負債の部</b>		
1. 流動負債		
未払金	WAZA展経費他	83,252,658
預り金	職員等源泉所得税他	1,219,824
前受金	特別展出品管理料他	1,088,000
仮受金	青山スクエア売上入金分	757,593
賞与引当金	職員賞与引当金	4,932,778
流動負債合計		91,250,853
2. 固定負債		
退職給付引当金		52,003,182
固定負債合計		52,003,182
負債合計		143,254,035
正味財産		875,609,999

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

##### ①満期保有目的の債券

償却原価法（定額法）によっている。

##### ②その他有価証券

時価のあるもの…決算時の市場価格等に基づく時価法（売却原価は移動平均法により算定）によっている。

時価のないもの…移動平均法による原価法によっている。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### 有形固定資産

什器備品…定額法によっている。

##### 無形固定資産

定額法によっている。なお、ソフトウェアについては法人内における利用可能期間（5年）に基づき定額法によっている。

#### (3) 引当金の計上基準

貸倒引当金 …債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については、過去の貸倒実績をもとに算出した貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

賞与引当金 …職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。退職給付債務は期末要支給額に基づいて計算し、会計基準変更時差異は15年で償却している。

#### (4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式に拠っている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及び残高

基本財産及び特定資産の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	820,769,000	405,118,000	536,602,500	689,284,500
銀行預金	38,066	80,972,500	0	81,010,566
小計	820,807,066	486,090,500	536,602,500	770,295,066
特定資産				
退職給付引当資産	22,339,356	29,663,826	0	52,003,182
運営強化基金資産	50,000,000	0	0	50,000,000
小計	72,339,356	29,663,826	0	102,003,182
合計	893,146,422	515,754,326	536,602,500	872,298,248

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの 充当額)	(うち一般正 味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	689,284,500	( 689,284,500 )	-	-
銀行預金	81,010,566	( 81,010,566 )	-	-
小計	770,295,066	( 770,295,066 )	-	-
特定資産				
退職給付引当資産	52,003,182	-	-	( 52,003,182 )
運営強化基金資産	50,000,000	-	( 50,000,000 )	( 0 )
小計	102,003,182	-	( 50,000,000 )	( 52,003,182 )
合計	872,298,248	( 770,295,066 )	( 50,000,000 )	( 52,003,182 )

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	32,213,506	15,731,730	16,481,776
合計	32,213,506	15,731,730	16,481,776



5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
<b>基本財産</b>			
国際復興開発銀行パワーリバース債	250,000,000	254,675,000	4,675,000
合計	250,000,000	254,675,000	4,675,000

注) 上記債券は、証券会社が発行するいわゆる「しくみ債」であって、この債券はその性格上市場性がないため、時価の評価が困難な債券です。従って、発行した証券会社によれば、上記の時価は次のような前提条件のもとで算出した時価情報となっています。

証券会社によれば、

- (1) 証券会社が定める評価基準日及び評価方法による評価額を時価情報として記載・提供したものであること。
- (2) ただし、財務諸表、税務申告書、その他官公庁等への届出書・報告書の作成という目的に適合しているか否かについては一切保証するものではないこと。
- (3) 時価情報を提供する条件として、何らの表明も保証も行わないこと。
- (4) 時価情報の価格決定に関する情報の正確さ、信頼性、完全性及びその妥当性に関していかなる目的においても一切の説明や保証はしないこと。
- (5) 時価情報作成後、公表等時価または評価・算定時価の修正がある場合、記載されている時価情報を予告なく変更することがあること。

以上の条件で時価が設定されていますが、いずれの債券も満期保有を目的としているため、満期には購入時の額面で償還されるものです。

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
国庫補助金	経済産業省	0	700,000,000	700,000,000	0	—
合計		0	700,000,000	700,000,000	0	

## 7. その他

### (1)退職給付関係

#### ①採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

#### ②退職給付債務及びその内訳

(単位:円)

①退職給付債務	67,252,668
②会計基準変更時差異の未処理額	△ 15,249,486
③退職給付引当金(①+②)	52,003,182

#### ③退職給付費用に関する事項

(単位:円)

①勤務費用	1,290,149
②会計基準変更時差異の費用処理額	3,812,374
③退職給付費用(①+②)	5,102,523

#### ④退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末要支給額を基礎として計算している。

#### ⑤会計基準変更時差異の処理年数

15年 (残存4年)

## 8. 実施事業資産

実施事業資産は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高
什器備品	16,477,468
合計	16,477,468

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため、記載を省略している。

### 2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	4,523,635	4,932,778	4,523,635	0	4,932,778
退職給付引当金	46,900,659	5,102,523	0	0	52,003,182

# 監 査 報 告 書

平成29年 5月15日

一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会  
代表理事 安藤重良 殿

一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会

監事 加藤 庄平 ㊟

監事 阿久津 正志 ㊟

監事 山田 ひさの ㊟

一般財団法人として平成28年度(平成28年4月1日～平成29年3月31日)における一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会の業務および財産の状況ならびに公益目的支出計画の実施状況について、法令および定款に基づき監査を行ったので、次の通り報告する。

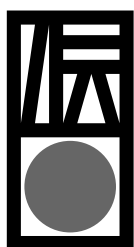
## 1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを実施し、計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて理事の業務遂行の妥当性を検討した。
- (3) 公益目的支出計画実施報告については、事業報告、財務諸表、および関係書類の閲覧など必要と認められる監査手続きを用いて、公益目的支出計画の実施状況の妥当性を検討した。

## 2. 監査意見

- (1) 事業報告の内容は、事実に従い、一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会の状況を正しく示しているものと認める。また、理事の業務執行に関する不正行為、または法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。
- (2) 貸借対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表及び財産目録は、会計帳簿の記録金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 公益目的支出計画実施報告書の内容は、法令または定款に従い、一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認める。

以上



一般財団法人

## 伝統的工芸品産業振興協会

---

〒107-0052 東京都港区赤坂 8-1-22 赤坂王子ビル 2F  
TEL. 03-5785-1001 URL. <http://kougeihin.jp>